

第6回 盛岡市新市庁舎整備審議会

日時 令和6年1月24日（水） 午前10時
場所 盛岡市勤労福祉会館 5階大ホール

次 第

1 開 会

2 報 告

- (1) 審議会の開催経過 資料1
- (2) 市議会への説明及び意見等 資料2
- (3) 市民説明会におけるアンケート結果 資料3

3 議 事

- (1) 基本理念と基本方針 資料4
- (2) 規模 資料5
- (3) 整備エリア 資料6
- (4) 今後の調査審議における論点整理 資料7

4 その他

5 閉 会

盛岡市新市庁舎整備審議会委員名簿

(敬称略)

	役職	委員名	役職等
1	会 長	倉 原 宗 孝	岩手県立大学総合政策学部教授
2	副会長	福 留 邦 洋	岩手大学地域防災研究センター教授
3	委 員	赤 坂 岳 史	公募委員
4	〃	浅 沼 清 一	岩手中央農業協同組合代表理事組合長
5	〃	宇佐美 誠 史	岩手県立大学総合政策学部准教授
6	〃	落 合 昭 彦	公募委員
7	〃	小山田 サナエ	のぞみ設計室代表 (一社)岩手県建築士会理事
8	〃	菊 池 透	盛岡商工会議所専務理事
9	〃	小枝指 好 夫	盛岡市町内会連合会会長
10	〃	駒 井 元	盛岡市玉山地域振興会議委員
11	〃	今 野 紀 子	盛岡市身体障害者協議会副理事長
12	〃	高 橋 悟	岩手県ふるさと振興部科学・情報政策室 DX推進専門官
13	〃	中 島 清 隆	岩手大学人文社会科学部准教授

【報告 1】 審議会の開催経過

《第 1 回審議会》

- 1 開催日時 令和 5 年 4 月 27 日（木） 14：00～16：30
- 2 開催場所 本庁舎 8 階 807-808 会議室及び各視察場所
- 3 出席委員 11 名（欠席 2 名）
- 4 会議の概要
委員への委嘱、会長及び副会長の選任を行った後、審議

(1) 議事

ア これまでの検討経過

- ・新市庁舎構想検討会議報告書
- ・新市庁舎のあり方に関する有識者等懇話会意見書

イ 今後の会議の進め方について

- ・スケジュール
- ・基本構想の構成

ウ 主な意見

- ・誰もがアクセスしやすいこと、また、しっかりと用務を済ませられることが大事である。
- ・立地場所に関わらず、市庁舎は防災拠点機能を担保する必要がある。
- ・国内外を問わず、市役所のあり方や地域に対する付加価値などの情報があれば、資料として提供いただきたい。
- ・すべての人の生活が安全安心であるべきであり、その視点での議論が必要である。
- ・本庁舎だけではなく、分庁舎や地域の人にも利用する支所を含めた庁舎機能として考えていかなければならない。

(2) 現地視察

次のルートにより現地視察を行った。

- ア 本庁舎本館及び別館 5 階（保健福祉部）
- イ 正面駐車場及び庁舎裏駐車場（平面駐車場及び立体駐車場）
- ウ 本館 1 階（ホール及び市民登録課）
以後バスにて、
- エ 保健所庁舎
- オ 若園町分庁舎周辺
- カ 愛宕町分庁舎
- キ 内丸エリア
- ク 盛岡駅西エリア
- ケ 盛南エリア

《第2回審議会》

- 1 開催日時 令和5年6月28日（水） 13:30～15:35
- 2 開催場所 盛岡市勤労福祉会館4階401-402会議室
- 3 出席委員 10名（欠席3名）
- 4 会議の概要

(1) 報告

- ア 審議会の経過
- イ 市議会への説明及び意見等
- ウ（仮称）内丸プランについて

(2) 議事

- ア 現市庁舎の現状と課題
- イ 新市庁舎整備の機能（基本方針）
- ウ 新市庁舎整備の理念
- エ 今後のスケジュール

【主な意見】

《現市庁舎の現状と課題について》

- ・ 今の課題だけでなく、市庁舎の建設時期を見据え、社会の変化を加味した課題も整理する必要がある。
- ・ 現状の課題から新市庁舎の方向性を整理しつつも、将来の社会変化に対応するための修正方法等について、整理する必要がある。

《新市庁舎整備の機能（基本方針）・理念について》

- ・ 「盛岡のシンボル」とは、単に建築物ではなく、多面的に色々な部分がかみ合い、全体として「盛岡らしさ」が見えてくることで、「シンボル」になっていくのではないか。
- ・ 窓口については、対面を望む年齢層と、来庁せずに済ませたい年齢層があり、多様な選択肢に対応できる機能が必要である。
- ・ 本庁舎だけでなく、分庁舎などを含めた中で市庁舎の機能を決めたほうがよい。
- ・ 市役所は来なくて済むことが基本である。人が集まる機能などは、二次的な要素であり、余裕があれば配慮すればよいのではないか。
- ・ 行政の範囲を超えた相談者や来庁者がおり、多角化しているため、新たな活力を生むためにもそういった人を排除しない市役所であってほしい。
- ・ 良質な市民サービスのためにも、職員の執務環境を考慮するべきである。
- ・ 公共的団体が使用できるスペースの確保や関係団体との合築について検討されたい。
- ・ 防災機能は、充実させるほどコストがかかる。少なくともしっかりとした災害対策本部機能は必要であり、それ以外の機能は、全体の中でコストを含め整理していくべき。また、災害時の情報発信機能も検討すべきである。
- ・ 新市庁舎整備基本構想で用いる、理念、基本方針、機能といった用語の定義を整理する必要がある。
- ・ 市庁舎整備の方針は、市の計画や方針と整合性を図る必要がある。

《第3回審議会》

- 1 開催日時 令和5年7月27日（木） 13：30～16：00
- 2 開催場所 プラザおでって3階大会議室
- 3 出席委員 11名（欠席2名）
- 4 会議の概要

(1) 報告

- ア 審議会の経過について
- イ 市議会への説明及び意見等について

(2) 議事

- ア 現市庁舎の現状と課題
- イ 新市庁舎整備の基本理念と基本方針
- ウ 新市庁舎の規模
- エ 整備エリア
- オ 今後のスケジュール

【主な意見】

《現市庁舎の現状と課題》

- ・ 現状の課題を整理する際は、現状の数値だけではなく、今後見込まれる変化を踏まえるべきである。

《新市庁舎の基本理念と基本方針》

- ・ 基本理念（素案）にある「幸せ」の定義は曖昧であり、人によって捉え方も異なるため、考え方を整理するべきである。
- ・ 総合計画にある「めざす将来像」と整合性のある基本理念にするべきである。
- ・ DX/GXの表現が基本方針として相応しいか、また、アルファベットの文字は誤解を与えやすいため、検討する必要がある。
- ・ 市民向けの方針ばかりでなく、職員の業務のしやすさといった視点も含めるべきである。
- ・ 持続可能といった観点や事業費、将来世代の負担を考慮した基本方針にするべきである。
- ・ 一時避難者の受入れや備蓄保管設備については、必要な機能なのか整理が必要である。
- ・ 指定緊急避難場所があるため、市庁舎内に避難所を設置するべきではない。
- ・ 情報設備、情報通信設備が充実した災害対策本部は大事である。
- ・ 盛岡の歴史・文化を反映した特色のある新市庁舎にするべきである。
- ・ 交流/情報拠点として、共創という概念があってもよい。

《新市庁舎の規模》

- ・ 集約後の空スペースに、来庁者のために特化したスペースを設置することも考えられる。
- ・ 分庁舎集約後において、市民が身近な支所から通信技術を用いてやり取りをする体制ができるのではないかと。
- ・ 庁舎の規模は、部署や現場の特性を考慮して算出するべきである。

- ・ 集約やスリム化により余った空間を別の目的で使用するという発想も必要である。

《整備エリア》

- ・ エリアにより、税金や地価への影響などがどのようになるかの比較材料がほしい。
- ・ 市議会でも意見があったように、実現可能性は前提として大事なことである。
- ・ 比較評価には、○×や点数だけではなく、評価理由や評点できないことを箇条書きにして記載する必要がある。
- ・ 検討の中で出てくる新たな比較評価項目についても、プラスの要素とマイナスの要素を明確にしながら、小項目などに分類して整理する必要がある。
- ・ 周辺環境との関連性といった視点や、経済効果などは重要視すべき項目である。

《その他》

- ・ すべての項目で、今後の状況変化に伴い見直す前提であることを明記すべきである。

《第4回審議会》

- 1 開催日時 令和5年9月27日（水） 13：15～15：50
- 2 開催場所 勤労福祉会館5階大ホール
- 3 出席委員 13名（欠席無し）
- 4 会議の概要

(1) 報告

- ア 審議会の経過について
- イ 市議会への説明及び意見等について
- ウ 中期財政見通しについて

(2) 議事

- ア 現市庁舎の現状と課題
- イ 「新市庁舎整備に関する市民説明会」の開催について
- ウ これまでの論点の整理

【主な意見】

《現市庁舎の現状と課題》

- ・ 今後想定される課題の一つが、人口や税収の減少であり、DXの推進等は、そうした課題に対応する手段であることを整理して記載するべきである。
- ・ 今後想定される課題は、変動要素が大きく、技術革新等により対応方法も増えるため、そのようなことに関する情報収集のあり方を記載するべきである。
- ・ 整備時期の目標を設定して、スケジュールを作成するべきである。

《「新市庁舎整備に関する市民説明会」の開催について》

- ・ 市民には、審議会のこれまでの調査審議の状況を丁寧に説明し、理解をいただくべきである。
- ・ 整備エリアを選定する根拠として、市民が何に関心を持ち、何を重視しているかを聞き取り、整理した上で、比較評価につなげるべきである。
- ・ 市民説明会で出された意見に対しては、何らかの方法でフィードバックするべきである。
- ・ スケジュールについては、市民意見に最大限対応するためにも、必要に応じて延ばすことも大事である。
- ・ 地方自治法の趣旨から、議会の関与が重要であることも、市民に説明するべきである。

《これまでの論点整理》

(基本理念及び基本方針)

- ・ 庁舎が整備される時期には、現状よりも組織のあり方や技術が変わるため、そうしたことを合わせて議論し、整理した上で、基本構想にはその考え方を記載するべきである。
- ・ 基本方針は、すべてを並列に記載するのではなく、重要度の整理をした表現にするべきである。

(規模)

- ・ 現状の機能に見合う建物を整備した上で、その後に規模が縮小できた場合は、余剰スペースを

民間に貸して収入を得るという発想も必要である。

- ・ 分庁舎のあり方を検討しつつも、事務的な行政機能を担う部署は本庁舎に集約するべきである。
- ・ 駐車場を他の機関と共用することにより、規模を小さくする方法も検討するべきである。

(整備エリア)

- ・ 3つの整備エリア候補地について、用地取得等の実現可能性は大事な視点である。
- ・ 固定資産税の歳入確保のためにも、地価への影響について議論するべきである。
- ・ 市民説明会の前に、整備エリアに関する審議会を開催し、調査審議するべきである。

《第5回審議会》

1 開催日時 令和5年11月30日（木） 13:30～15:35

2 開催場所 プラザおでって3階おでってホール

3 出席委員 11名（欠席2名）

4 会議の概要

(1) 報告

ア 審議会の経過

イ 市議会への説明及び意見等

ウ 「新市庁舎整備に関する市民説明会」の開催結果

(2) 議事

ア 基本理念と基本方針

イ 整備エリア

ウ 整備スケジュール

エ 今後の調査審議における論点整理

【主な意見】

《基本理念と基本方針》

- ・ 職員の働きやすさや生産性の向上が、市民サービスにつながることを踏まえるべきである。
- ・ 基本方針の事務局素案に「交流・共創拠点」があるが、機能のことなのかスペースのことなのか整理する必要がある。
- ・ 本庁舎と支所等の役割や機能を整理して検討するべきであり、市民が不便にならないようにするべきである。
- ・ 基本理念は、「つながり 支え合い 市民とともに歩み続ける市庁舎」を中心に検討するべきである。

《整備エリア》

- ・ 整備エリアを3つの候補に絞るに当たって、それ以外の案が困難である理由等を整理する必要がある。
- ・ 現市庁舎の跡地についても、合わせて検討する必要がある。
- ・ エリア全体のまちづくりのための市庁舎となるべきであり、他の計画と連携した計画にするべきである。
- ・ エリア選定に当たっては、防災拠点機能が発揮できることを重要視するべきである。
- ・ 水害時の職員の参集のため、洪水浸水想定区域内に整備するべきではない。
- ・ コストの有利不利は、様々な要因があることから、慎重に判断するべきである。
- ・ エリアごとのコスト比較よりも、必要性を重視して判断するべきである。
- ・ 市民説明会において意見が多かった「まちづくり」や「市民の利便性」については、整備エリアの比較評価に当たり、重み付けをする必要がある。

- ・ エリアの比較評価に当たっては、小項目による比較評価の積み上げにより、全体評価とするべきである。

《整備スケジュール》

- ・ 市民説明会で意見があったように、整備時期の目標を定めて計画を立てるべきである。

《その他》

- ・ 市民説明会で意見があったように、様々な方法により、これからの盛岡を担う若者の意見を聴くべきである。
- ・ 厳しい財政状況を踏まえ、総事業費の上限を想定して検討するべきである。

【報告 2】市議会への説明及び意見等

《5月18日全員協議会》

1 会議概要

開催日時 令和5年5月18日(木) 10:00 ~ 12:00
場 所 本庁舎別館委員会室
協議事項 新市庁舎整備の検討状況について

2 説明内容（協議事項）

全員協議会資料（省略）

3 市議会からの主な意見等

【整備コンセプト】

- ・ 市庁舎は、市民、県民のための建物であり、使いやすさがテーマである。
- ・ 市を象徴する場所であり、市民の意見を十分に反映し、検討を進めてほしい。
- ・ 盛岡が培ってきた風土を体現し、時代を超えていけるような建物としてほしい。

【機能・防災】

- ・ 支所の役割を踏まえた上で、DXによる行政サービスを充実させながら、必要な機能を持ち、かつ、コンパクトにする整備手法を目指していくべきである。
- ・ 防災機能拠点として、断層地震を想定しどこに建設すべきか、メリットを検討してほしい。
- ・ 河川氾濫だけでなく、内水、火山噴火、地震災害についても、詳細に検討すべきである。
- ・ 市民の避難場所が設けられる諸外国の事例のように、防災から一歩踏み込んで検討してほしい。

【整備エリア】

- ・ 他都市の事例をもっと調査し示すべき。また、市庁舎移転の決定は、地方自治法の特別多数議決の趣旨から、議会の関与も含め、慎重に進めるべきである。
- ・ どこに整備するかが最大の焦点であり、整備エリアの確定には、客観的な指標や資料が必要。
- ・ 3つのエリアそれぞれのデメリットをカバーする方策を踏まえて、審議いただきたい。
- ・ 整備エリアは広く市民の意見を十分に聴き、議論し、皆で決めるという手法をとるべきである。

【今後の検討のあり方】

- ・ 関係部署との協議や調整ができなかったからなどとならないよう、進めてほしい。
- ・ （仮称）内丸プランは、丁寧な合意形成が必要であることから、再度、現市庁舎を耐震診断し、更に10年、15年使用するとの選択もしつつ、納得のあるまちづくりを進めるべきである。
- ・ （仮称）内丸プランとの整合性が大事であり、市庁舎が関わらないのはおかしい。
- ・ DXや人口の状況など、社会のあり方が変わり、時間経過によって市庁舎に求められる要因が変わる可能性がある。
- ・ パブリックコメントやまちづくり懇談会など、住民の総意を創り上げる必要がある。
- ・ 新市庁舎は、財源が大きな問題である。整備方法や事業費、財源は、整備エリアとセットにして審議会で検討すべきではないか。
- ・ DXやAIなど、新市庁舎建設までに様々な分野で大きく変わるため、将来を見通すという考え方を取り入れてほしい。

≪7月18日全員協議会≫

1 会議概要

開催日時 令和5年7月18日（火） 10:00 ～ 12:00

場 所 本庁舎別館委員会室

協議事項 新市庁舎整備の検討状況等について

2 説明内容（協議事項等）

全員協議会資料（省略）

3 市議会からの主な意見等

【防災】

- ・ 防災対策は重要であり、リスク分散の観点から、県庁との分散配置についても検討するべきである。
- ・ 本庁舎が被災した際に、都南分庁舎が災害対策本部の代わりになることを考慮するべきである。
- ・ 整備エリアの比較評価項目については、優先順位があるべきで、防災対策など市役所でなければできないことを優先するべきである。

【整備エリア】

- ・ 実現可能性を含めて詳細に評価するためにも、エリア内の具体的な場所を示す必要がある。
- ・ 市役所は賑わい施設でもあるため、経済効果という指標を設けるべきである。
- ・ DXでは対応できない相談業務や福祉団体等との連携を考慮すると、市役所と関連機関は近接していたほうがよい。
- ・ 中心市街地活性化について、これまで時間をかけて議論してきたことを踏まえながら検討するべきである。
- ・ 評価項目については、項目や評点の方法によって結果が変わるため、客観的な指標に基づいた、議員や市民による議論の積み重ねにより合意形成を図る必要がある。

【機能】

- ・ 分庁舎のあり方について、整備場所と関連付けながら、市民の利便性という視点から検討するべきである。

【今後の検討のあり方】

- ・ 旧都南村との合併協定書や3つの整備エリア候補になった経緯について、当該地域の住民のほか、それ以外の市民への説明が必要である。
- ・ 合併協定書は重く受け止めるべきで、もし盛南以外のエリアとなる場合は、市民への説明が必要である。
- ・ 合併協定書を尊重しつつも、時代の変化に対応する柔軟さも必要である。
- ・ 公表しているスケジュールにこだわらず、整備エリアについて議論を尽くし、市民の合意形成を図る必要がある。
- ・ 若い世代やこれからの子供たちのために、将来の負担が少ない庁舎整備とすべきである。

≪9月21日全員協議会≫

1 会議概要

開催日時 令和5年9月21日(木) 14:00～16:00
場 所 本庁舎別館委員会室
協議事項 新市庁舎整備の検討状況等について

2 説明内容(協議事項等)

全員協議会資料(省略)

3 市議会からの主な意見等

- ・ 今後も、7月に開催した全員協議会のような議員が意見を述べる場を設けるべきである。
- ・ PFI、県庁との連携、市の施設の再配分等の計画を詰めた上で、市民から意見を聴き、議論をするべきである。

《10月20日全員協議会》

1 会議概要

開催日時 令和5年10月20日（金） 14:00 ～ 16:00

場 所 本庁舎別館委員会室

協議事項 新市庁舎整備の検討状況等について

2 説明内容（協議事項等）

全員協議会資料（省略）

3 整備エリアに関する議員アンケートについて（R5.10 市議会において実施）

内丸エリア 26人、盛岡駅西エリア 2人、盛南エリア 6人、その他 4人

4 市議会からの主な意見等

【市民説明会】

- ・ 新市庁舎整備に関する説明会に参加した人から意見を聴くことが大事である。
- ・ 整備エリアを絞る過程で市民の意見を聴くことが大事であり、拙速に進めるべきではない。説明会は4回では少ないのではないか。
- ・ 市民説明会以外にも、地域懇談会において意見を聴くべきである。
- ・ 都南村との合併協定書の経緯もあるため、特に都南地域では丁寧な説明が必要である。

【整備エリア】

- ・ 実現可能性が重要である。

《内丸エリア》

- ・ 県庁、市役所を中心としてきた歴史、文化や市民及び職員の利便性を踏まえるべき。
- ・ 県庁や警察署等の関係機関が近隣にあるため、防災上の観点から相応しい。
- ・ 他都市では市庁舎の移転により、中心市街地が疲弊した事例がある。

《盛南エリア》

- ・ 都南村との合併協定書の約束を守るべきである。
- ・ 都南村の住民には、合併協定がないがしろにされていると感じている人もいると推察される。

《盛岡駅西エリア》

- ・ 実現可能性の観点から、十分な市有土地があり、駅とも隣接している。

《その他》

- ・ 歩いて楽しむまちなどの観点から、DXを活用しながら、庁舎を分散する考えもある。

【その他】

- ・ 基本構想の策定期間について、令和6年度の具体的な時期を示すべきである。
- ・ 他機関との折衝等課題が多いため、市内部のプロジェクトチーム等の体制作りが必要である。
- ・ 市庁舎整備と他の主要施策を調整した予算の裏付けが必要である。
- ・ 市長と県知事、もしくは幹部同士の調整の場が必要である。
- ・ 間接民主主義の観点から議会での議論を充実させるべきであり、早めの情報提供をされたい。

《12月14日全員協議会》

1 会議概要

開催日時 令和5年12月14日（木） 15:30 ～ 16:30
場 所 本庁舎別館委員会室
協議事項 新市庁舎整備の検討状況等について

2 説明内容（協議事項等）

全員協議会資料（次ページ）

3 市議会からの主な意見等

- ・ 新市庁舎の供用開始までの期間が延びるということは、現市庁舎の調査や修繕等の対応よりコストがさらにかかると思われる。
- ・ 用地の取得は難航することが予想され、エリアを決めたとしても、リアリティがない。
- ・ 新市庁舎供用開始時期の人口構成等資料を提示してほしい。

新市庁舎整備の検討状況等について

令和5年12月14日

総務部

1 趣旨

新市庁舎整備について、市民説明会の開催結果や審議会の調査審議の状況について報告するとともに、今後の進め方等について説明するもの。

2 市議会への説明等（令和5年度）

開催日	会議	協議事項
5月18日	全員協議会	新市庁舎整備の検討状況について（審議会報告、今後の進め方等）
7月18日	全員協議会	新市庁舎整備の検討状況等について（審議会報告、今後の進め方等）
9月21日	全員協議会	新市庁舎整備の検討状況等について（審議会報告、今後の進め方等）
10月20日	全員協議会	新市庁舎整備の検討状況等について（審議会報告、今後の進め方等）

3 市民説明会の開催結果

(1) 開催日程等

	地域	開催日時		開催場所	参加者
第1回	盛岡	11月7日(火)	14:30~16:10	プラザおでって（おでってホール）	93名
第2回	盛岡	11月11日(土)	10:30~12:30	市総合プール（研修室）	52名
第3回	都南	11月12日(日)	15:00~16:45	都南分庁舎（大会議室）	65名
第4回	玉山	11月19日(日)	14:00~15:35	渋民公民館（大会議室）	57名

参加者 計 267名

(2) 主な意見等

(別紙資料1参照)

4 新市庁舎整備審議会での調査審議

(1) 第5回審議会の概要

- ・開催日時 令和5年11月30日 13:30~15:35
- ・出席委員 11人（委員定数 13人）
- ・内容 市民説明会の開催報告、基本理念及び基本方針、整備エリア、整備スケジュール及び論点整理

【委員からの主な意見等】

- ・職員の働きやすさや生産性の向上が、市民サービスにつながることを踏まえるべきである。
- ・基本方針の事務局素案に「交流・共創拠点」があるが、機能のことなのかスペースのことなのか整理する必要がある。
- ・市民説明会において意見が多かった「まちづくり」や「市民の利便性」については、整備エリアの比較評価に当たり、重み付けをする必要がある。

- ・エリア選定に当たっては、防災拠点機能が発揮できることを重要視するべきである。
- ・エリア全体のまちづくりのための市庁舎となるべきであり、他の計画と連携した計画にするべきである。
- ・厳しい財政状況を踏まえ、総事業費の上限を想定して検討するべきである。
- ・市民説明会で意見があったように、整備時期の目標を定めて計画を立てるべきである。

・開催経過及び予定

	開催日	主な調査審議事項
第1回	令和5年4月27日	会長等の選出、新市庁舎整備基本構想について諮問等
第2回	6月28日	現状と課題、基本構想（基本理念、機能 ほか）
第3回	7月27日	現状と課題、基本構想（基本理念、規模、整備エリア ほか）
第4回	9月27日	市民説明会、財政見通し、基本構想（策定スケジュール ほか）
第5回	11月30日	基本構想（基本理念、整備エリア、整備スケジュール ほか）
第6回	令和6年1月24日	（調整中）

(2) 基本理念及び基本方針について

これまで委員から意見のあったキーワードなどを基に調査審議した結果、次の方向性とし、引き続き、整理していくこととされた。

・基本理念（仮設定） 「つながり 支え合い 市民とともに歩み続ける市庁舎」

<説明（イメージ）>

人と人、人と社会、市民と市がつながり、お互いを支え合いながら、誰もが安心して住みやすいまちとして進化し、続いていく、そうしたまちづくりに向け、市民とともに歩むこと、そのシンボルとして市庁舎があり続けること、を意識した基本理念とするもの。

・基本方針（仮設定） 次の4つの視点から、引き続き、整理していく

- 「行政サービス拠点」 …多様な行政ニーズに対応し、誰もが安心、便利に利用できる。
- 「防災拠点」 …災害時の業務継続、迅速対応により、市民の安全安心を守る。
- 「持続・変革拠点」 …様々な課題や多様性に持続的に対応し、柔軟に変化し続ける。
- 「交流・共創拠点」 …人の交流や情報を活かし、市民ともにまちづくりを進める。

審議会委員の提案におけるキーワード

「市民同士や市民と市役所」 / 「庁舎と地域」 / 「つながり」 / 「連携」 / 「持続可能」
「進化」 / 「まち」 / 「社会」 / 「暮らし」 / 「支える」 / 「拠点」

(3) 整備エリアについて

・比較評価対象の絞り込み

「新市庁舎のあり方に関する有識者等懇話会意見書（R5.2）」に基づき、「内丸、盛岡駅西、盛南の3つのエリアを中心に検討する。」こととしているが、今後は、3つのエリアに絞って調査審議を進めることとされた。

なお、これまで市民等から提案のある「①盛岡城跡公園、②市営野球場及び③盛岡地域交流センター（マリオス）」の3箇所については、関係法令の規制、周辺環境の整備、確保可能な

面積などの点から、新市庁舎の整備には適さないと判断されることから、検討対象としないことについて了承された。

・エリア比較評価項目（別紙資料2参照（第4回審議会資料参照））

内丸、盛岡駅西及び盛南エリアの比較評価項目や内容、比較方法について、素案の確認を行うとともに、その妥当性や項目の過不足等にかかる審議を行った。

次回以降の審議会において引き続き、精査を行っていく。

[比較評価項目（素案）]

A まちづくりへの影響

上位計画・都市計画、周辺環境への影響、周辺施設との連携、経済的效果

B 市民利便性/交通アクセス

公共交通・歩行者環境、自動車交通

C 災害リスク/防災拠点性

洪水・水害、地震・液状化・火山噴火、災害対応・防災拠点・物資輸送

D 敷地配置/動線

用地取得可能性・時期、供用開始までの期間、敷地配置、駐車場配置・動線計画

E 事業への影響

事業費、その他

(4) 整備スケジュールについて（別紙資料3参照（第4回審議会資料参照））

新市庁舎の供用開始時期の目標設定について、整備スケジュールを整理しながら、引き続き、検討していくこととされた。

・整備スケジュール

「新市庁舎構想検討会議報告書（R4.2）」においては、新市庁舎の供用開始時期を「用地選定後7年目」としていたが、工程を改めて整理した結果、「用地選定後10年目」と想定されることを審議会でも説明

・現市庁舎の耐用年数

本庁舎本館で実施した耐震補強改修工事（H22～25年度）においては、適正な維持管理の下、工事完成後20年程度（※工事完了翌年の平成26年を起点とすれば令和15年まで）使用することを想定し、耐震補強を行うよう計画していた。

現庁舎は新市庁舎の供用開始までの使用を前提とし、必要な対応を行っていくものとする。

5 今後の進め方（第5回審議会資料より抜粋）

次の点について、審議会に具体的な資料を提示し、調査審議いただくとともに、市議会から御意見を伺いながら、スケジュール感を持って、整理、検討を進めていくこととする。

(1) 基本構想（案）の答申時期

答申は令和6年度と見込まれ、今後の審議会の調査審議状況を踏まえながら決定するものとしている。市民説明会での意見や、今後のエリア選定などの調査審議状況を踏まえ、改めて答申時期について、審議会に諮っていくこととする。

(2) 市総合計画等の関連計画との整理

市総合計画（～令和6年度）や公共施設保有最適化及び長寿命化長期計画（～令和7年度）などのほか、（仮称）内丸プランを始め、まちづくり等に関する計画との整理を図っていくこととする。

(3) 規模

庁舎分散の課題を踏まえ、内丸周辺の各分庁舎、保健所庁舎及び都南分庁舎（都南総合支所を除く。）を集約する方向とし、規模（延床面積）を32,000㎡と試算している。

これまでの審議会での調査審議や市民説明会において、市の財政見通しや将来世代への負担の懸念のほか、既存分庁舎の有効活用などによる集約のあり方についての意見があることも踏まえ、適正規模の考え方について整理していくこととする。

(4) 事業費の試算及び財源

先に公表した市の中期財政見通しや、今後の事業費の積算（試算中）を踏まえ、引き続き、建設費だけでなく、土地取得や移転に要する費用などを含めた全体事業費の試算を進め、事業費に充てる起債の償還シミュレーションなどを踏まえ、財源の確保を含め、整理していくこととする。

※参考

「新市庁舎構想検討会議報告書（R4.2）」では、令和3年度までに市庁舎を整備した他の自治体の事例から、庁舎建物建築単価（設計、調査、駐車場整備、用地取得費などは含まない。）を390千円/㎡として試算（敷地面積12,000㎡/延床面積33,300㎡/総事業費188.3億円～200.3億円（用地取得費等を含む。）令和4年2月報告書にて公表済）したが、最近の他自治体の事例を参考とした場合、556千円/㎡程度と見込まれる状況にある。（R4.2試算時点の約1.4倍）

(5) 整備スケジュール

新市庁舎整備に係る用地確保、財源、事業手法などについて検討を進め、新市庁舎の供用開始時期を見据え、全体の整備スケジュールについて整理していくこととする。

6 今後のスケジュール

<令和5年度>

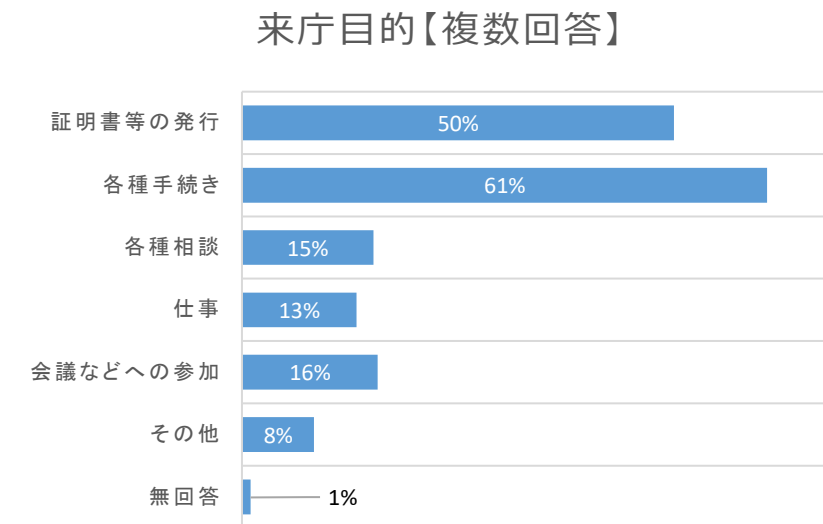
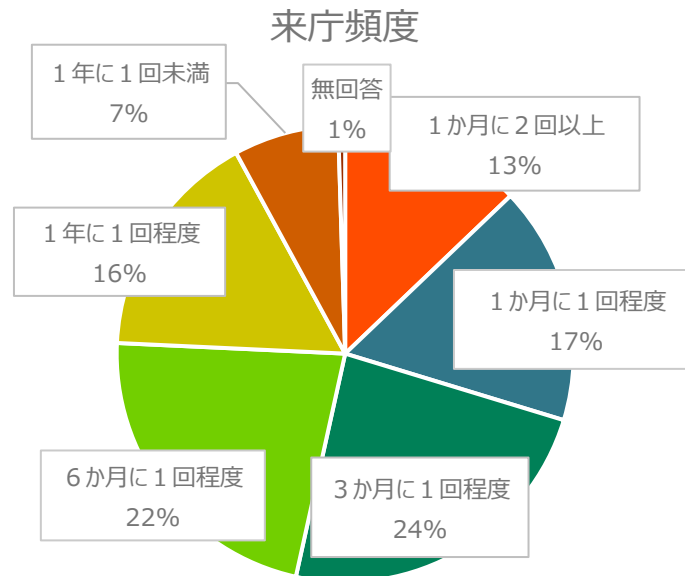
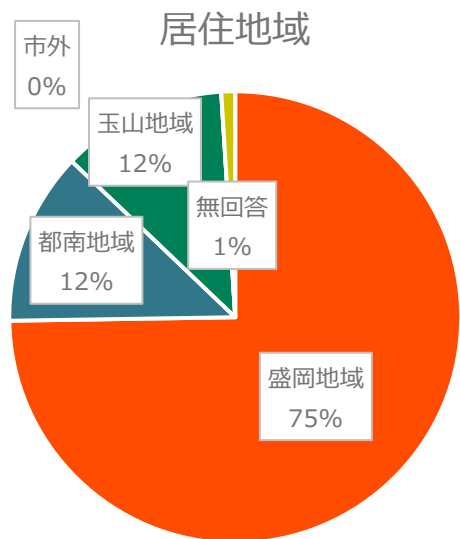
令和6年1月24日	第6回新市庁舎整備審議会
2月	全員協議会（予定）
	第7回新市庁舎整備審議会

<令和6年度（以降）>

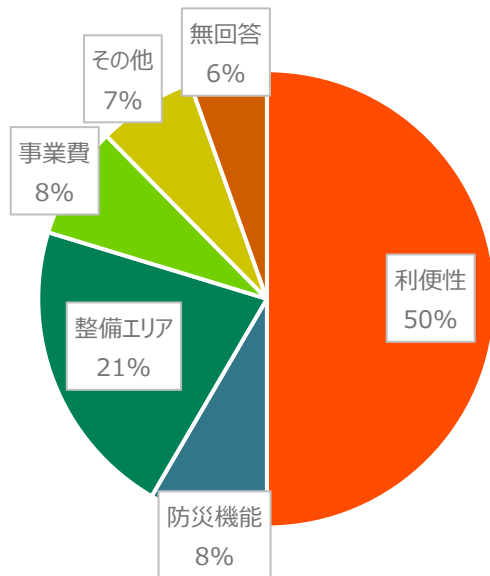
新市庁舎整備審議会の開催、基本構想（案）答申、市議会への報告
基本構想（案）パブリックコメント
基本構想策定

【報告3】市民説明会におけるアンケート結果について

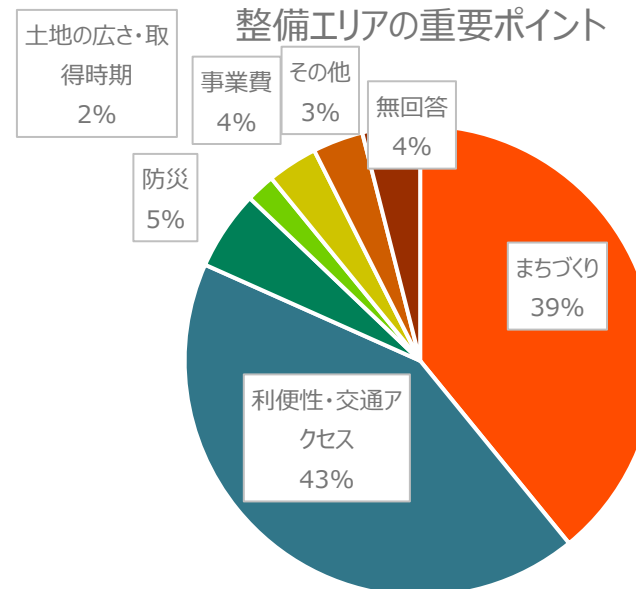
R5.11 市民説明会アンケート結果 参加者数：267名 回答者数：202名 回収率76%



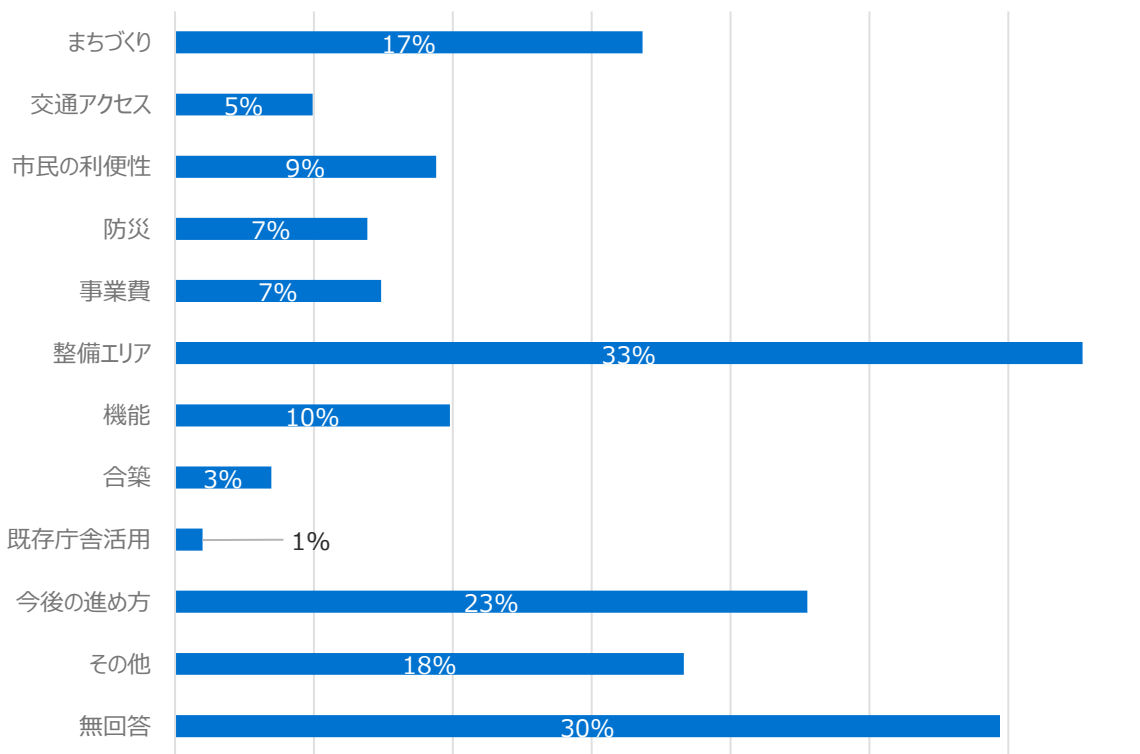
新市庁舎整備の重要ポイント



整備エリアの重要ポイント



新市庁舎に対する意見【自由記載】



【まちづくり】

- ・将来のまちづくりを考慮し、各候補エリアのまちのあり方を考えるべき。
- ・市庁舎整備を契機とし、盛岡のまちづくりを推進して欲しい。

【交通アクセス】

- ・子どもから高齢者まで、誰もがアクセスしやすい場所を選定するべき。

【市民の利便性】

- ・バリアフリーとし、どこにどの部署があるのかわかりやすい庁舎にするべき。
- ・市庁舎を利用する世代にとって使いやすい庁舎として欲しい。

【防災】

- ・災害時に行政機能が停滞しないような庁舎として欲しい。
- ・多発化、激甚化する災害への対策を第一に考えるべき。

【事業費】

- ・将来世代への負担をなるべく少なくして欲しい。
- ・簡素なつくりとし、行政機能が最大限発揮できる庁舎とするべき。

【整備エリア】

- ・歴史性を大事にし、内丸エリアに整備して欲しい。
- ・市有地があり、利便性の高い盛岡駅西エリアを希望する。
- ・都南村との合併協定の経緯から、盛南エリアが最適である。

【機能】

- ・必要台数を十分に確保した駐車場を整備するべき。
- ・整備する場所によって求められる機能が変わることを理解するべき。

【合築】

- ・他の行政機関等との合築を考えるべきではないか。

【今後の進め方】

- ・まだまだ時間をかけて検討するべき。
- ・若い世代に向けた説明会やワークショップを開催して欲しい。
- ・市民全体が納得できるような方向性を示して欲しい。

【既存庁舎の活用】

- ・現庁舎を活用し、必要に応じて近隣の建物を間借りすることで、建て替えよりも安い費用で済むのではないか。

【その他】

- ・盛岡の歴史を感じられる外観として欲しい。
- ・庁舎の整備と併せて、公共交通のあり方も検討するべき。
- ・コンクリート造りとするか木造とするか、検討が必要ではないか。

【議事1】基本理念と基本方針

第5回審議会(R5.11.30開催)において、次のとおり確認し、必要に応じ振り返りながら修正等を検討することとした。

1 基本理念

これまで委員から意見のあったキーワードなどを基に調査審議した結果、次の方向性とし、引き続き、整理していくこととします。

「つながり 支え合い 市民とともに歩み続ける市庁舎」

<説明(イメージ)>

人と人、人と社会、市民と市がつながり、お互いを支え合いながら、誰もが安心して住みやすいまちとして進化し、続いていく、そうしたまちづくりに向け、市民とともに歩むこと、そのシンボルとして市庁舎があり続けること、を意識した基本理念とするもの。

2 基本方針

次の4つの視点とし、引き続き整理していく。

(1) 行政サービス拠点

多様な行政ニーズに対応し、誰もが安心して便利に利用でき、質の高い行政サービスを効率的かつ安定的に提供する庁舎を整備します。

《想定される庁舎としての機能の例示》

- ・ 総合窓口案内、ワンストップ窓口、書かない窓口の設置への対応
- ・ 国際基準の案内サイン、自動音声案内、点字付き案内板などの来庁者支援機能
- ・ ユニバーサルデザインの導入
- ・ プライバシーに配慮した相談ブースの設置等、より丁寧な対面対応が可能となる機能
- ・ 充実したセキュリティシステム
- ・ 多様な市民ニーズに対応できる設備（キッズスペースの配置や各種相談窓口の設置） など

(2) 防災拠点

市民の安全安心を守る災害時の対応拠点となるために、防災、被害抑制を考慮した庁舎、災害時の迅速かつ効果的な業務の実施を支える庁舎を整備します。

《想定される庁舎としての機能の例示》

- ・ 即時に災害対策本部を立ち上げられる設備、災害時の運用を想定した機能
- ・ 災害時にも確実に機能する情報通信設備
- ・ 官民連携による対応を想定した、情報発信等の機能
- ・ 耐震や免震に対応した構造・設備
- ・ 中層階以上への自家発電装置や太陽光発電設備の配備 など

(3) 持続・変革拠点

現在、そして将来に想定される課題に対し、DX/GXなどの取組による解決や進化とともに、多様な市民のライフスタイルや職員の働き方に対応した持続可能かつ変革し続ける庁舎を整備します。

《想定される庁舎としての機能の例示》

- ・ 新たな技術や機能に柔軟な対応ができる、可変性や多様性を備えた庁舎
- ・ インターネットによる手続きやリモート窓口に対応する機能
- ・ 太陽光発電等の再生可能エネルギー設備
- ・ 寒暖や自然採光、雨水などを活用した庁舎管理機能
- ・ オープンフロア、フリーアドレス等、効率的な執務環境に対応する機能、構造 など

(4) 交流・共創拠点

人と人がつながり、情報が集まり、発信しながら、市民とともにまちづくりを進めていく庁舎を整備します。

《想定される庁舎としての機能の例示》

- ・ 情報発信機能を持つ共有スペース
- ・ 市民活動などに利用できるフレキシブルなスペース
- ・ 民間団体等が活用できる相談スペース
- ・ ATM、コンビニエンスストア、食堂など、市民、職員が活用できる施設 など

1 これまでの検討経過

(1) 審議会での調査審議

第3回審議会(R5.7.27開催)において、次のとおり調査審議を行った。

＜現庁舎の課題＞

- ・市民利便性の課題
- ・業務効率性の課題
- ・現庁舎分散化による経費の課題

＜方向性＞ 庁舎の集約

- ・延床面積 32,000㎡
- ・公共施設保有最適化・長寿命化計画に基づき、内丸周辺分庁舎の一括集約と都南分庁舎の部署の一部を集約
- ・職員のテレワークなども想定

○審議会意見

- ・必ずしもすべての機能を本庁舎に集約する必要はない。
- ・今後の業務のあり方や職員の働き方によって、必要な規模は変わってくる。
- ・市の財政状況や他の事業等を考慮した、規模の限界も想定される。
- ・人口推移や市施策など、将来的に変更が見込まれる数値は規模に影響する。

(2) 市民説明会(R5.11)での主な意見

- ・将来世代の負担を考慮した検討が必要ではないか。
- ・建物規模の見直しが必要ではないか。
- ・既存施設の有効活用を検討すべき。

(3) 市議会からの意見

- ・県庁との連携、市の施設の再配分等の計画を詰めた上で、市民意見を聴き、議論をするべき。
- ・市庁舎整備と他の主要施策を調整した予算の裏付けが必要である。
- ・若い世代や子供たちのために、将来の負担が少ない庁舎整備とするべき。
- ・新市庁舎供用開始時期の人口構成等資料を提示して欲しい。



市民意見等を踏まえ

規模の最適化について再度整理、検討を行う必要

2 適正規模の検討に当たっての視点

新市庁舎の整備スケジュールを前提に、現市庁舎の課題解決に向けた新市庁舎整備の必要性を十分に踏まえながら、市民意見等を踏まえ、次の視点で新市庁舎の適正規模について整理することとする。

(1) 社会経済状況を踏まえた整理

- ・人口減少などによる市財政規模への影響や職員数の見通し、DXによる市庁舎に求められる機能の変化

※将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所の公表資料(R5.12))

岩手県 2020年 121万 534人 → 2050年 78万3,242人(△35.2%)

盛岡市 2020年 28万9,731人 → 2050年 22万5,333人(△22.2%)

- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)により、行政手続きのオンライン化などによる市庁舎に求められる機能の変化、テレワークやスマートオフィスなど、執務環境や職員の働き方の変化

(2) 将来世代への負担を見据えた整理

将来の財政規模や財政負担を踏まえ、建設時だけではなく、新市庁舎を維持管理する世代の負担も考慮しながら検討をする必要性が、より高まっている。

(3) 事業規模の整理

- ・当初想定した延床面積 32,000㎡の規模とした場合、現時点の試算で事業費が250億円を超え、更に増大する可能性が高く、財政負担の大幅増加が想定される。
- ・既存施設の維持・修繕経費の上昇にも対応していく必要がある。

(4) 既存分庁舎の有効活用

既存分庁舎の使用の延伸なども想定し、計画的な修繕など適正な維持管理を行いながら、新市庁舎への段階的な集約などについて検討していく必要がある。

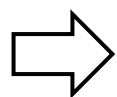
【資料】盛岡市の将来推計人口（出典：国立社会保障・人口問題研究所 R5.12公表データより作成）

	年少人口（0～14歳）			生産年齢人口（15～64歳）			老年人口（65歳以上）			総人口			
	対象人数	割合	2020年比	対象人数	割合	2020年比	対象人数	割合	2020年比	人数	2020年比	減少数	前比減少幅
2020年	33,724	11.6P	—	174,492	60.2P	—	81,515	28.2P	—	289,731	—	—	
2030年	26,455	9.7P	78.4%	158,295	58.1P	90.7%	87,892	32.2P	107.8%	272,642	94.1%	9,424	3.3P
2040年	23,272	9.3P	69.0%	134,527	53.7P	77.1%	92,862	37.0P	113.9%	250,661	86.5%	11,544	4.2P
2050年	20,358	9.0P	60.4%	113,000	50.2P	64.8%	91,975	40.8P	112.8%	225,333	77.8%	12,911	5.2P

【資料】中期財政見通し（R5.11） ※市民説明会資料より抜粋

直近の当初予算と地方財政制度を踏まえ、一定の条件のもと、令和5年度当初予算をベースとして、歳出改革を織り込まない歳出自然体の姿で、令和6年度から10年度までの、今後5年間の財政見通しを機械的に試算。

- ・令和6年度以降、収支の差が7億円から12億円の不足となる見込み
- ・不足分を財政調整基金から取崩すと仮定する
→令和10年度末の残高：47.7億円 < 適正残高の目安：60億円



「歳入の確保」「歳出の抑制」「財政情報の共有」を進めて対応

当該資料は素案としてお示しするものです。比較評価項目や各エリアの評価について、今後の調査審議により整理していくことを前提としています。

比較評価項目		内丸エリア	盛岡駅西エリア	盛南エリア
A まちづくりの影響	上位計画 都市計画	都市計画マスタープラン：中心地域－中心拠点として地域特性を生かし都市機能の集積を図る。内丸地区については、歴史性や周辺環境を生かし、都市の中心拠点としての再生を図る。	都市計画マスタープラン：中心地域－中心拠点として地域特性を生かし都市機能の集積を図る。	都市計画マスタープラン：盛南地域－中心拠点として地域特性を生かし都市機能の集積を図る。
		立地適正化計画：中心拠点【中心市街地】の役割を担う都市機能誘導区域であり、行政機能を誘導施設に位置付けている。	立地適正化計画：中心拠点【中心市街地】の役割を担う都市機能誘導区域であり、行政機能を誘導施設に位置付けている。	立地適正化計画：中心拠点【盛南】の役割を担う都市機能誘導区域であり、行政機能を誘導施設に位置付けていない。
		商業地域(建蔽率:80% 容積率:400～600%)であり、施設規模を大きくすることが可能。ただし「一団地の官公庁施設」区域の建蔽率は40%。	商業地域・近隣商業地域・盛岡駅西口地区地区計画区域内(建蔽率:80% 容積率:200～400%)であり、施設規模を大きくすることが可能。なお、盛岡駅西口地区地区計画により、最低敷地面積2,000㎡、最低建築物高さ10mの制限あり。	商業地域・盛岡南新都市地区地区計画区域内(建蔽率:80% 容積率:400%)、一部第一種住居地域である。盛岡南新都市地区地区計画により、立地場所によっては建築物の高さ50m以下の制限あり。
	建蔽率:土地面積と建物の建築面積(平面)の割合 容積率:土地面積と建物の総延床面積(容積)の割合			
	「一団地の官公庁施設」の都市計画は制限の見直しなどが必要。			
	周辺環境への影響	藩政時代から続く行政・経済の中心を担う機能や歴史性の継承が可能。	賑わいを創出する市民施設等との近接により、都市機能の親和性の高い施設集積に寄与できる。	新たなまちのシンボルの創出により、人流の増加が期待できる。

比較評価項目		内丸エリア	盛岡駅西エリア	盛南エリア
A まちづくりへの影響	周辺環境への影響	<p>歴史・文化では盛岡さんさ踊りにみる歴史的風致の活用、賑わいが可能</p> <p>広幅員道路に面した敷地や官公庁施設周辺に建設することで、現庁舎と同等の「シンボル性、歴史的な官公庁施設群の都市景観の継承」が可能</p> <p>盛岡城跡公園や紺屋町などの昔ながらの街並みとの調和、官庁街としてのバランスの取れた景観が求められる。</p>	<p>交通の結節点による交流人口増に期待できる。</p> <p>盛岡駅周辺に建設することで、駅からの近接、視認性によるシンボリックな建物群の一角となり、駅前の「都市景観の形成」が可能</p> <p>高層建物、外観的オリジナリティのある建物があるため、景観の配慮は必要だが、デザイン性のある建物とした場合であっても比較的周辺環境と馴染みやすい。</p>	<p>地区周辺の産業支援施設との連携による新しい「ものづくり拠点」として発展に期待できる。</p> <p>盛岡市立病院周辺に建設することで、公共施設との一体性や、ゆとりのある都市環境により、「拠点都市としてのシンボル形成」が可能</p> <p>一定の高さの建物はあがるが、公園や住宅地とも隣接、混在したエリアでもあるため、景観・デザイン的な配慮が必要である。</p>
	官公庁・周辺施設との連携	<p>官公庁施設の集積により、行政間の連携が可能</p> <p>行政・経済の中心で、官公庁施設、金融・商業施設の集積に伴う昼間就業者が多く、中心市街地全体への賑わいの波及効果に貢献</p>	<p>消防署、国の合同庁舎などの官公庁施設との行政間の連携が可能</p> <p>盛岡地域交流センター(マリオス)、いわて県民情報交流センター(アイーナ)の情報交流センター、文化ホールなどの市民施設との交流・賑わいに貢献</p>	<p>市の運動施設、医療施設の集積により各施設との連携が可能</p> <p>アリーナ、プール等の運動施設、医療文化、大型商業施設が集積し、運動・医療・文化・商業機能による交流・賑わいに貢献</p>
	経済的効果	<p>来庁者による街歩きや観光拠点としての経済効果に期待でき、街の賑わいや活性化、回遊性に貢献</p>	<p>駅前立地による観光拠点機能として市民施設との連携により、交流人口の増加による経済効果に期待でき、街の賑わいや回遊性に貢献</p>	<p>来庁者の周辺公益施設等の利用に伴う経済効果が期待でき、今後の街の発展に貢献</p>

比較評価項目		内丸エリア	盛岡駅西エリア	盛南エリア
A まちづくりへの影響	経済的効果	「一団地の官公庁の施設」であるが、都市計画の制限が見直された場合、土地利用は公的利用のみに制限されない可能性がある。		
		地区外移転の場合、現在の経済活動、周辺地域への消費活動、公共交通機関の利用などのあらゆる経済活動への影響に考慮が必要	観光や市外とつながるビジネスの拠点となり得るが、これらの人々の中心市街地への回遊が盛岡駅周辺のみと限定的になるおそれがある。	現在の中心市街地からのアクセス性が弱く、中心拠点の二極化に伴う経済損失が懸念される。
<p>※経済的効果の数値化について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各エリアでの市場調査を実施し、その結果をもとに算出する方法が必要となる。ただし、庁舎とエリア経済の関連性の把握・分析を行うことは、経費、時間の確保ができない。 各エリアにおいて増減が出た場合でも、市全体としてみた場合には増減が出ない可能性があり、比較評価項目としてなじまない。 市庁舎の移転に伴う土地価格の変動を経済的効果としてどう評価するか整理が必要。 移転後の跡地活用に大きく左右されるため、現時点での算定は困難。 				
B 市民利便性／交通アクセス	公共交通・歩行者環境		盛岡駅に近接し、鉄道による高い利便性	
			バスによるカバー率は、対象主要バス停に到達可能なバス経路上のバス停から300m以内の人口(R2国勢調査に基づく)について盛岡市総人口を母数として割合を算出したもの。	
		<ul style="list-style-type: none"> 主要バス停「県庁・市役所前」は市民の69.4%が乗換なしで到着可 路線バス本数が多く、盛岡駅前～盛岡バスセンターの高い交通利便性 	<ul style="list-style-type: none"> 主要バス停「盛岡駅西口」、「盛岡駅前」では市民の72.0%が乗換なしで到着可 「盛岡駅西口」は、高速バスや貸切主体の停留所であり、滝沢・みたけ方面、盛南方面と利用できる系統は限られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通手段が路線バスのみ、主要バス停「盛岡市立病院」では市民の26.1%が乗換なしで到着可 乗入系統も少なく、時間帯が限られる。
	歩道がない箇所や歩道幅員が狭い箇所もあり、回遊性に支障が生じる可能性がある。	広い両側歩道や盛岡駅直結の歩行者デッキにより、歩行者の利便・回遊性がある。	広い歩道が設置されている箇所が多いが、施設間距離があるため回遊性は劣る。	

比較評価項目		内丸エリア	盛岡駅西エリア	盛南エリア
B 市民利便性／ 交通アクセス	自動車交通	混雑度が高く、朝夕のピーク以外でも混雑が発生	複数の4車線道路整備により、自動車アクセスに優れる。	高速道路等の広域交通拠点性、複数の4車線道路整備により、自動車アクセスに優れる。
		現庁舎と同じエリア内のため、混雑悪化の影響は少ない。	混雑が少ないエリアであり、自動車の分担率が低く、自動車への来庁が内丸エリアと同等であるため、混雑が悪化する可能性は低い。	混雑度は少ないエリアで、複数の多車線道路のため混雑影響は少ない。
		徒歩の移動が多いエリアであり、自動車の分担率が低め。	公共交通の結節点であり、自動車に頼らずに来訪できる。	
		周辺に時間貸し駐車場が複数あり、繁忙期でも駐車場対応が可能	盛岡駅西口地区駐車場に加えて時間貸し駐車場が複数あり、繁忙期でも駐車場対応が可能	自動車の分担率が高く、必要駐車台数が多くなるが、時間貸し駐車場が少ないため、繁忙期の駐車場不足が懸念

比較評価項目		内丸エリア	盛岡駅西エリア	盛南エリア
C 災害リスク／防災拠点性		各自然災害の発生想定については、盛岡市ホームページ「もりおか便利マップ※」における災害ごとのマップ情報及び内水ハザードマップから整理したものである。 ※洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、岩手山火山防災マップ、地震災害危険度マップを掲載		
	洪水・水害	エリア東側及び南西側は0.5m未満～3.0mの洪水浸水想定、エリア中央は浸水想定なし。内水浸水なし。	エリアの大半の洪水浸水想定が3.0m～5.0m未満のため、対策が必要 内水浸水は一部が0.2～1.0m未満	洪水浸水想定が、0.5m未満及び0.5m～3.0m未満の部分もある状況。内水浸水は一部のみ調査完了しており、0.3m未満の部分が見られる。未調査部分については不確定要素となる。
		・エリア中央は地盤レベルを上げるなどの対応で安全性は確保しやすい。 ・洪水浸水想定区域は対策として地盤のレベルアップに加え新庁舎1階ピロティ（一部駐車場、車寄せ、車路）とするなど浸水時の安全性確保が必要	浸水対策として地盤のレベルアップに加え、新庁舎1階ピロティ（一部駐車場、車寄せ、車路）とするなど、1～3階の使用法の吟味、洪水浸水時の安全性確保が必要	地盤レベルを上げるなどの対応で、安全性は確保しやすい。
		洪水浸水想定区域内の場合は、非常用電源等を2階以上に設置する必要がある。	非常用電源等を2～3階以上に設置する必要がある。	洪水浸水想定区域内の場合は、非常用電源等を2階以上に設置する必要がある。
	地震・液状化・火山噴火	断層帯型地震で震度6弱、液状化の可能性はかなり低く、噴火影響なしとなっており、安全性は高い。	断層帯型地震で震度5強～6弱、液状化の可能性はかなり低く、噴火影響なしとなっており、安全性は高い。	断層帯型地震で震度5強～6弱、液状化の可能性はかなり低く、噴火影響なしとなっており、安全性は高い。

比較評価項目		内丸エリア	盛岡駅西エリア	盛南エリア	
C 災害リスク／防災拠点性	災害対応・防災拠点・物資搬送	<p>周辺の官庁施設との連携、特に県庁が近隣にあること、医療施設があることから、災害時において広域的連携を含めた防災拠点としての立地は最適</p>	<p>市民施設との連携、消防署などの官公庁施設との集積により、市の防災拠点としての連携が可能。駅近接であり、帰宅困難者への対応が必要</p>	<p>運動施設への避難、医療施設への被災者対応などの連携による災害拠点性の強化ができる。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ・物資搬送としては、東北道からのアクセス状況によるが、搬送経路は確保しやすい。 ・周辺施設が多く、施設付近へのアクセスが混雑する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資搬送としては、東北道からのアクセス状況によるが、搬送経路は確保しやすい。 ・駅周辺であり、周辺施設が多くアクセスが混雑する可能性がある。 	<p>物資搬送としては、東北道からのアクセス性が良い。</p>	
		※災害時に対策本部や庁舎の業務継続を確実にを行うための必要物資の搬送を想定			
		<p>大地震時の安全性・早急な機能復旧への対応が必要 (官公庁街であり、災害時の停電復旧等の優先度が高いエリアとなっており東日本大震災の際も、比較的復旧は早い状況であった。)</p>	<p>大地震時の安全性・早急な機能復旧への対応、浸水水害対策が必要</p>	<p>大地震時の安全性・早急な機能復旧への対応</p>	
D 敷地配置／動線	用地取得可能性・取得時期	<p>地区内には、活用可能な市有土地が存在しないため、用地を確保する必要があり、未利用地も少ない状況となっていることから、既存の建物機能の移転や補償など、土地取得に時間を要する可能性がある。</p>	<p>土地区画整理事業にて開発されたため比較的大きな区画となっているが、既に多くの用地が活用され、新たな用地の取得は難しい。民間土地所有者との連携などの方法は調整等に時間がかかる。</p>	<p>土地区画整理事業にて開発されたため比較的大きな区画となっているが、一定の敷地面積がある土地は私有地で、取得の難易度は高い。</p>	
		<p>私有地を新たに取得する場合、公共用地となることにより、取得面積に応じて固定資産税等、税収減となることに留意が必要</p>			
		<p>内丸エリアの一体的な再整備の検討との調整が必要であり、新市庁舎整備だけを先行することは困難なため、調整等に時間を要する。</p>	<p>市所有の敷地（市営駐車場）は内部調整にて事業を進められ、事業の早期実現化が可能。ただし、現在の駐車場機能の確保等についての検討は、別途必要</p>	<p>庁舎規模の縮小などで敷地面積の縮小化などを図った上で、地権者との交渉を進める必要性があり、確保までの時期が見通せない状況</p>	

比較評価項目		内丸エリア	盛岡駅西エリア	盛南エリア
D 敷地配置 ／ 動線	用地取得可能性・取得時期	令和5年度固定資産税路線価で市役所前で145,000円/㎡ 固定資産・都市計画税1.6%で算出すると2,320円/㎡	令和5年度固定資産税路線価でマリオス前で120,000円/㎡ 固定資産・都市計画税1.6%で算出すると1,920円/㎡	令和5年度固定資産税路線価で市立病院東側で70,000円/㎡ 固定資産・都市計画税1.6%で算出すると1,120円/㎡
	供用開始までの期間	用地確保に他の施設等との調整が必要であり、一定年数を要する可能性が高いほか、設計・建設などに9年程度。	市有地を活用し、既存の機能の移転を並行して進めた場合、設計・建設などに9年程度。	用地確保までの期間が推定できないほか、設計・建設などに9年程度。
	※財源確保についての調整期間は含まない			
敷地配置	<p>以下について、8,000㎡は、想定規模から算出した延床32,000㎡の建物とした場合に、庁舎及び駐車場を整備するのに最低限度必要となる面積。ただし、建物が一定程度高くなる。敷地内への付帯施設等の設置はできない。</p> <p>内丸地区の再整備を地権者の協力により進めた場合、確保が想定される敷地面積は約8,000㎡～12,000㎡程度と想定される。土地価格が高いため、広くなるほど用地取得価格に影響する。</p> <p>一団地の官公庁施設の都市計画の見直しに関する検討との調整を要する。</p> <p>12,000㎡が確保された場合は、1フロア約3,000㎡程度が確保可能で、建物高さも抑えられる。</p>	<p>市営駐車場用地を活用した場合、約15,000㎡が上限と想定される。</p> <p>駐車場台数確保のため、立体駐車場が大きくなり、敷地の多くを占有してしまう。</p> <p>15,000㎡の場合、1フロア約3,500㎡程度が確保可能で、建物高さも抑えられる。</p>	<p>8,000㎡以上の用地の確保は民間地権者との交渉が必要であり、現時点で取得の実現可能性は低い。</p>	



部分は規模について検討中



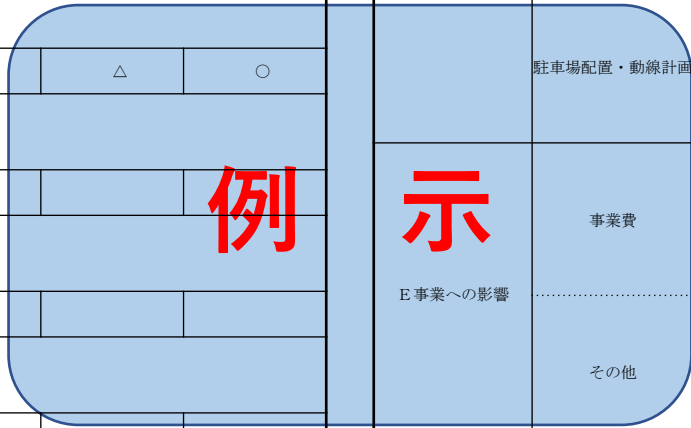
部分は規模について検討中

比較評価項目		内丸エリア	盛岡駅西エリア	盛南エリア
D 敷地配置 ／ 動線	敷地配置	8,000㎡ほどの場合、高さが約65mほどが想定され、景観に課題。また岩手県環境アセスの第2種事業建物（高さが50m以上100m未満）に該当する可能性があり。		8,000㎡ほどの場合、高さが約65mほどが想定され、景観に課題。また岩手県環境アセスの第2種事業建物（高さが50m以上100m未満）に該当する可能性あり。盛岡南新都市地区地区計画の高さ制限に抵触する可能性あり。
	駐車場配置・ 動線計画	<p>来庁者用の必要駐車台数は、国土交通省作成「大規模開発地区関連計画マニュアル」に基づく算出方法を用いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来庁者用駐車場としては171台の確保が必要と想定される。 ・条例による駐車場の附置義務がある <p>周辺に多くの民間駐車場がある。</p> <p>駐車台数の確保のため、立体駐車場の台数と平面駐車台数のバランスに工夫が必要</p> <p>周辺施設が多く、混雑を軽減する駐車場配置、駐車場動線に工夫が必要（敷地内の引き込み距離の確保、2方向からの出入を考慮等）</p> <p>歩行者動線の配慮が必要</p> <p>愛宕町の車庫等と距離が近いため、公用車(123台分)駐車場として、現在の車庫の使用を継続する選択肢も検討可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西口のみを考慮した場合、来庁者用駐車場としては198台の確保が必要と想定される。 ・条例による駐車場の附置義務がある <p>東口を含めると周辺には民間駐車場も多くあるが、西口のみを考える場合には限定される。</p> <p>盛岡駅西口地区駐車場の動線と庁舎用動線の動線分離に工夫が必要</p> <p>周辺の大型施設も多いため、駐車場配置、アクセス動線に工夫が必要（敷地内の引き込み距離の確保、2方向からの出入を考慮等）</p> <p>歩行者動線の配慮が必要</p> <p>利用者、公用車(123台)、現在の盛岡駅西口地区駐車場(459台分)の全ての駐車台数をカバーするためにはかなり大規模な駐車場の設置が必要となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来庁者用駐車場としては338台の確保が必要と想定される。 ・条例による駐車場の附置義務がある <p>各施設用の駐車場はあるが、民間駐車場は少ない</p> <p>必要駐車台数が多く、駐車台数の確保のため、立体駐車場の台数と平面駐車台数のバランスに工夫が必要</p> <p>道路幅員が広く各街区が大きいため、駐車場へのアクセスがしやすい。</p> <p>歩行者動線の配慮が必要</p> <p>利用者と公用車(123台)の駐車台数をカバーするためには大規模な駐車場の設置が必要となる。</p>

比較評価項目		内丸エリア	盛岡駅西エリア	盛南エリア
E 事業への影響	事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア中央は地盤レベルを上げるなどの対応が想定される。 ・洪水浸水想定区域は対策として地盤のレベルアップに加え新庁舎1階ピロティ（一部駐車場、車寄せ、車路）とするなど浸水時の安全性確保のための経費が想定される。 	浸水対策として地盤のレベルアップに加え、新市庁舎1階ピロティ（一部駐車場、車寄せ、車路）とするなど、1～3階の使用法の吟味、洪水浸水時の安全性確保のための経費が想定される。	水害対策のため、多少のコストがかかる。（地盤レベル上げ程度）
		地盤がよく、事業コストの低減可	地盤がよく、事業コストの低減可(周辺の地盤調査結果から推測したもの。詳細は計画地の地盤調査が必要。)	地盤がよく、事業コストの低減可(周辺の地盤調査結果から推測したもの。詳細は計画地の地盤調査が必要。)
			線路周辺の近接工事に係る対応経費による増額の可能性有	
	その他	共用駐車場を整備する場合、整備経費の軽減の可能性はある。また、民間駐車場の活用の検討も可能	現在の盛岡駅西口地区駐車場台数分の整備経費がかかる（想定事業費約20億円）。一方、民間駐車場の活用の検討も検討可能	想定必要台数が多く、民間駐車場も少ないことから、駐車台数確保のため、より整備経費がかかる。
	主要幹線道路からの工事用車両動線の整理に課題、周辺交通の渋滞への影響に課題、近隣建物等への配慮が必要	駅前地区であり、また周辺の大型建物住宅があるため、工事用車両動線の整理や、周辺交通の渋滞への影響、近隣住民への配慮が必要	主要幹線道路からの工事用車両動線の整理に課題、周辺交通の渋滞への影響に課題。	
		線路周辺の近接工事に留意が必要		

評価票（例示① 記号方式）

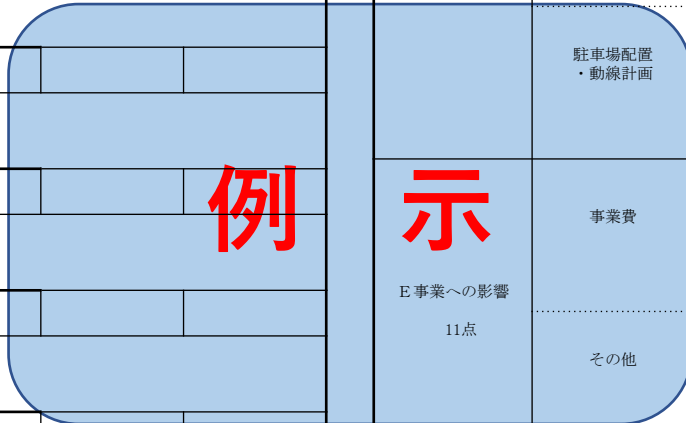
比較評価項目		重要度	エリアA	エリアB	エリアC
大項目	小項目				
Aまちづくりへの影響	上位計画・都市計画	×2	△	△	◎
	(評価コメント)				
	周辺環境への影響	×2	△	○	△
	(評価コメント)				
官公庁・周辺施設との連携			◎	△	×
	(評価コメント)				
経済的効果			○	△	○
	(評価コメント)				
B市民利便性／交通アクセス	公共交通・歩行者環境	×2			
	(評価コメント)				
自動車交通					
	(評価コメント)				
C災害リスク／防災拠点性	洪水・水害	×2			
	(評価コメント)				
	地震・液状化・火山噴火				
(評価コメント)					
災害対応・防災拠点・物資搬送		×2			
	(評価コメント)				
D敷地配置／動線	用地取得可能性・取得時期				
(評価コメント)					



比較評価項目		重要度(配点)	エリアA	エリアB	エリアC
大項目	小項目				
D敷地配置／動線	供用開始までの期間	×2			
	(評価コメント)				
	敷地配置				
	(評価コメント)				
駐車場配置・動線計画					
	(評価コメント)				
E事業への影響	事業費	×2			
	(評価コメント)				
その他					
	(評価コメント)				
総合評価		◎	5	3	4
		○	2	6	1
		△			
		×			

評価票（例示②） 点数方式

比較評価項目		配点	エリアA	エリアB	エリアC
大項目	小項目				
Aまちづくりへの影響 30点	上位計画・都市計画	10点 (評価コメント)			
	周辺環境への影響	10点 (評価コメント)			
	官公庁・周辺施設との連携	5点 (評価コメント)			
	経済的効果	5点 (評価コメント)			
B市民利便性／交通アクセス 20点	公共交通・歩行者環境	15点 (評価コメント)			
	自動車交通	5点 (評価コメント)			
C災害リスク／防災拠点性 23点	洪水・水害	10点 (評価コメント)			
	地震・液状化・火山噴火	3点 (評価コメント)			
	災害対応・防災拠点・物資搬送	10点 (評価コメント)			
D敷地配置／動線	用地取得可能性・取得時期	5点 (評価コメント)			



比較評価項目		配点	エリアA	エリアB	エリアC
大項目	小項目				
D敷地配置／動線 16点	供用開始までの期間	3点 (評価コメント)			
	敷地配置	3点 (評価コメント)			
	駐車場配置・動線計画	5点 (評価コメント)			
	事業費	8点 (評価コメント)			
E事業への影響 11点	その他	3点 (評価コメント)			
	総合評価 100点		/100	/100	/100

【議事 4】 今後の調査審議における論点整理

1 基本構想(案)の答申時期

答申は令和6年度と見込み、具体的な答申時期は、今後の審議会の調査審議状況を踏まえながら決定する。

2 内丸プラン等、他計画との整理

市総合計画を始め、まちづくり等に関する計画との整理を図っていく必要がある。

(1) 盛岡市総合計画 (H27.3策定/計画期間 H27～R6年度)

令和7年度からの次期計画を策定。令和5年度中に骨子(案)を策定予定

(2) 盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画 (H26.12策定/計画期間 H28～R7年度)

令和8年度からの計画を策定。令和6年度中に概要を公表予定

(3) 内丸プラン等、他計画との整理

更新時期を迎える市総合計画やアセット計画、策定を進めている内丸プランを始め、まちづくり等に関する計画との整理を図っていく。

(4) その他、都市計画やまちづくり等に関する計画

- ・都市計画マスタープラン (H13年度策定/R5.3変更)
- ・立地適正化計画 (R2.3策定/計画期間 R2～R17年度)
- ・その他

3 規模

庁舎分散の課題を踏まえ、内丸周辺の各分庁舎及び都南分庁舎(都南総合支所を除く。)を集約する方向とし、規模(延床面積)を32,000㎡と試算した。

これまでの審議会での調査審議や市民説明会において、市の財政見通しや将来世代への負担のほか、既存分庁舎の活用などによる集約のあり方についての意見があることも踏まえ、適正規模の考え方について整理する。

4 事業費の試算及び財源

先に公表した市の中期財政見通しや、今後の事業費の積算(試算中)を踏まえ、引き続き、財源確保の検討を進めていくこととする。

(1) 事業費の試算

- ・新市庁舎整備構想検討会議報告書 (R4.2) 188.3億円～200.3億円

※R5.4.27 第1回新市庁舎整備審議会で資料配布 延床面積 33,300㎡

・報告書では、令和3年度までに市庁舎を整備した他の自治体の事例から、建築費を390千円/㎡として試算したが、最近の他自治体の事例を参考とした場合、612千円/㎡程度と見込まれる状況にある。(R4.2試算時点の約1.57倍)

・建設費だけでなく、土地取得や移転に要する費用などを含めた全体事業費の試算を進め、事業費に充てる起債の償還シミュレーションなどを踏まえ、整理していく。

・事業規模の適正化、既存庁舎使用延伸のための修繕など、現世代や将来世代の負担を考慮しながら、検討を進める。

(2) 財源の確保

建物規模や必要な機能の整理、事業手法の検討や事業実施スケジュールの検討、市庁舎整備基金や活用できる補助金の精査などを進めていく。

5 整備スケジュール

供用開始の目標年度を定めて、事業を進めていくべきとの意見があり、設定について検討を進めている。目標年度設定の検討要素としては、次の事項が挙げられる。

(1) 現庁舎等の耐用年数

整備時や改修工事の時期から目安となる時期の想定は可能であるが、現在の正確な状態を確認するためには耐力診断を行う必要がある。

新市庁舎の供用開始時期について、目安となる年数を超えた時期に設定する場合は、現市庁舎の施設を適正に維持するための経費の確保も前提となる。

(2) 用地の確保

選定される整備エリアにより、用地確保までの期間が異なることが想定されるほか、現時点で用地交渉等が必要となった場合の必要期間の想定が難しい。

(3) 財源の確保

多大な経費が掛かることが想定され、今後見込まれている厳しい財政状況の中で、事業規模の見直しや他の事業との調整を行いつつ、財源の確保を行う必要がある。

(4) 事業手法等の整理

PPP/PFI事業手法や建物の複合化等を採用する場合については、検討、調整に相応の期間を要する可能性がある。

(5) 新市庁舎の供用開始時期の検討

新市庁舎の供用開始時期について、本庁舎で実施した耐震補強改修工事（H22～25年度）の際の耐用年数の目安から見た場合、令和16年の供用開始が一つの目標になると想定される。

（工事完成後、適正な継続管理の下、20年程度の使用を想定して実施）

一方で、現時点で想定される整備スケジュールでは、用地確保後に9年ほどの事業期間が想定されることから、他要素も考慮しながら、引き続き、全体の整備スケジュールについて精査していく必要がある。

市民アンケート自由記載欄意見	
NO.	
1	庁舎のエネルギー使用量を予測して計算し、設計に活かしてください。その後公表してください。
2	県庁→花巻北上、市役所→県庁跡地。Youtube配信してください。
3	盛岡城が大事だから。
4	市民全員にアンケート調査するべき
5	内丸で再整備し、他の市有地を売却して事業費確保してほしい
6	できればエレベーターなど危険性を伴う部分は取り換えが必要。
7	現市庁舎の場所がいい。
8	交通アクセス重視なら西口がベスト。盛南地区に作るなら、市役所行きのバスを充実させるべき。あたらしく庁舎を作ってもいずれは老朽化するので、先々のことを考えて作るべき。リスクを考えて分散してもいいのでは。庁舎の前にイベント広場を作り、将来の建て替え地にしてはどうか。
9	世の中ではコンパクトシティの流れがあり、郊外に行くことは逆行している。
10	県都を県南にもっていかれないようにしてほしい。魅力ある都市に、まずは市庁舎から
11	できるだけ庁内の連絡の良さ、庁内人員及び他の用事が1箇所で済むような利便性交通アクセス。交通アクセスをもっと重視すること、無料駐車場希望。盛岡PRの場、スローガン掲示。2万人規模の広場が欲しい。すべての庁舎をまとめる必要はない。
12	市庁舎隣のテレビ局用地を市で利用できないか。テレビ局の機器設備は新しくなければならぬはず。
13	具体の計画日程を早めに出してほしい。内丸エリアに賛成です！
14	内丸エリアにして大通りを活性化してほしい。40年前は楽しかったが今はイオンしか行くところがない。買い物は仙台か東京に行っている。子供も高額所得者なので盛岡には魅力がなく東京で働いている。
15	民主主義は大変。コスト時間がかかる
16	集まっている年齢層にも着目してみてもどうか。商売にも直結するので不動産関係者も着目しているかも。用地決定が一番。内丸から離れるが、市営球場県営球場もありかも。

17	現在地は絶対的景観ポイントなので他に譲るべきではない。中心部の空洞化は避けられないので現在地で工夫を凝らすべき。浸水対策は工夫次第。現在地を本庁舎とし、医大跡地に第二庁舎を設けては。広く市民の声を聴くのはいいがバスセンターは失敗例。審議委員を厳選。予算はもう少し十分な額で立派なものを。
18	まだまだ検討に時間をかけるべき
19	CO2排出をできるだけ減らす建築手法、エネルギー節約を考慮すべき。周辺環境との調和や防災面の強化も目指したい。
20	職員が働きやすい観点からはではいけない。高齢者に寄り添う視点が必要。市民が出向く部署は駅西に、それ以外は内丸盛南エリアに配置すればいい。市街地への自家用車乗り入れ抑制し公共交通利用を増やそうと市は取り組んでいる。整合性を取るべきと思慮する。現庁舎と別館、内丸分庁舎、ドイツウヒを伐採した城跡公園をつなぐ。1Fを洪水対策として駐車場とし、4階程度の建物として屋上を公園にしてはどうか。
21	市民が憩える場を作ってほしい。中央公民館の大きいバージョンがいい。市庁舎の用途を明確にするといい。職員の方のガンバリは理解しています。意欲的に取り組みましょう。
22	県庁移転、産業空洞化、医大移転への影響から内丸がいいのでは。
23	第4、第5の候補を受け付けてほしい。業務量人員増の見通しデータを出してほしい。
24	内丸地区の国有地、県有地、民有地を活用して新しい盛岡を築いてほしい
25	ただの手続きのための建物か、盛岡の街の発展も考えてのことなのか、しっかり考えていかなければいいものがない。
26	他の地域を参考にしてもっと広い土地、駐車場のある場所。市の水道部駐車場が候補。
27	30年後50年後の盛岡を想定し、人口、街を取り囲む周辺地域の在り方を含めた街づくりの一環として庁舎を作るべき。
28	これまでの報告書、意見書の論点を整理し、内丸プランとの整合性を図って早期に計画策定実施を。
29	感染症対策がしやすい建物になればいい。
30	市有地があり利便性高い西口を希望します。
31	盛岡の歴史を考えると内丸がふさわしい。静岡市の官庁街が駿府城を囲んでいるのを見てきた。歴史を重んじ高層化や耐震性を取り入れ計画してほしい。
32	盛岡を一度離れたのは就職先がないためだった。経済の活性化を図るべき。数十年後に無意味な建造物にならないようにしてほしい。
33	駅西について交通の利便性が高いという評価があるが、ほんとうにそうか。駅の自由通路を利用しない場合、IGRや駅東のバスターミナルまで来た人間の動線はどうなるのか。公道を利用する場合どの動線が考えられるのか。

34	地元の職を伝えるレストランがあれば外の人を連れていかれる
35	将来の高齢化を想定し交通の利便性を第一に考慮すべき。駅西盛南エリアは不可。内丸エリアで医大教養部などほかに適地がないか検討すべき。後藤新平大風呂敷の考え方を参考に将来設計できないか。内丸エリアが不可なら駅西エリアを候補とする。
36	内丸地区では広い土地の確保は無理なので高層建物になるのだろう
37	医大と市役所が共同で今後につながる体制ができるといい。ワクワクする施設は大賛成。
38	都南村との合併の際将来の新庁舎は盛南地区を適地として検討するとしている。H11に新庁舎の取得用地を断念している。仙北地区には水害の可能性があり、盛南地区に庁舎があると避難所として利用できる。これらから盛南地区が最適と考えます。
39	老人と子供たちが利用しやすいようにバスのアプリを作成してほしい。本庁舎と分庁舎の連携をよくしてほしい。
40	時代の流れで状況が変わるので約束を破る云々はどうかと思う。
41	新しい市長に大変期待しています。住民の意見を聞く大変良い企画だったと思います。私は建て替えなければならないのであれば内丸地区を望みますが、総合的に判断して頂くことを望みます。
42	駐車場を確保してほしい。
43	家に何台も車があって生活から切り離せなくなっているようです。このような中ではバスが不便になっても仕方がないのでしょうか子どもから老人まで誰でも行ける庁舎であって欲しいと思います。（盛岡は人口のわりに生活圏を広げ過ぎていると思います）
44	参加者の方の話にあった旧市営野球場跡地を検討してほしい。
45	新しい市長が選出されたので、急ぐ事はないと思うので、将来のまちづくりの事を考えてエリア別の町なみのあり方を考えて欲しい。
46	盛岡の将来像、まちづくりの視点が重要 3か所の選択という問題ではない
47	参加した皆さんから発言をしてもらったことは大変良かったと思います。場所決定については経緯を重んじて欲しい。
48	庁舎は盛岡市の顔である。内丸エリア、駅西エリアは広い土地確保は困難、道路、既存建物の関係で今以上の発展は見込めない。盛南エリアと将来のまちづくりと交通アクセスをセットで考えてほしい。
49	①公的機関の回りに各民間事務所、飲食店が増える等、将来のまちの発展に大きく影響する。将来どのような街にしたいかが基本方針に含まれるべき。盛岡市街地全般の発展を考えるのであれば、内丸地区以外に整備するのが良いし、（内丸地区に県庁、国の機関が集中しているため。）、内丸地区を核として発展させた方が良いのであれば、内丸地区を選択することになる。②国の助成制度があれば、最大限活用していただきたい。
50	1ヵ所にまとめる事にとらわれる必要はないと思いますが、分散した方が良いと思われるのもあると思います。

51	何を一番重要視するか？をきちんと考えて市民全体が納得する方向でお願いしたい。（一部の人の利益は考えずに）
52	新しい庁舎の話が出てからかなり時間が経過している印象がある。早く決めてほしいとは思いますが、あまり長引くものよくないのでは。
53	盛南地区（市立HPの北側の地）に、国から安い賃借料で借りて建てるのがベストと思います。
54	内丸（コンパクト）と都南（広いスペースで）の2ヶ所にしては
55	本日市民プールの会場に参加し本宮地区の発展には目を引くところですが、市民が住む場所として考えると、こちらはやはり新興地区、内丸地区（歴史ある）存続のためにも新市庁舎は内丸地区で考えていただきたい。
56	盛南エリアを希望する。わざわざ他の浸水エリアに建てることはない。公共交通については、県交通と協力すれば対応可能であろう。自動運転の時代も到来する。40～50年後の人口年齢分布を考えてみてほしい。高齢者も大分減るはずです。
57	市街地活性化のために東新庄1丁目の「市営野球場」の所に市役所が建つとよりよい盛岡になるのではないのでしょうか。敷地も広く（役2.3ha）有効活用できるかと思います。浸水区域外でもあります。
58	盛南開発のビジョンに立ち返るべき。
59	10代に向けての説明会やWSも積極的に行ってください。
60	軸状都市と盛南地区を位置付け、盛岡中心部の交通停滞緩和、行政の利便性向上等のため、盛南開発に多額の金をかけてきました。当初の目的通り、盛南に市役所移転をお願いするものです。
61	「きく」だけでなく、進むべき方向をしっかりと決めて説明していくことが大切。迷走しているように思える。庁舎をどのように使うか、街づくりの中で行かないとできないこと、行かなくてもできることをはっきりさせ、行かないとできないことをしやすい庁舎の位置に決めていく方がよいのではないか。
62	過去に市庁舎が、現市立HPあたりに移転してくるので農地を明け渡してくれと言われ、渋々印を押した経緯がある。是非約束を守っていただきたい。ある市議の話だが、もう内丸地区にほぼ決まっているとの話を伺ったが、この説明会は出来レースではないか！
63	庁舎の事と関係のない話をする老人が多いので時間がなくなった。
64	盛岡のシンボルは盛南地区がふさわしい。シリコンバレーのようなビックバンを望む、大きな理想。国際都市をめざしてほしい。
65	正確な情報を市民に出して、オープンな議論をする。
66	矢巾町も盛岡に編入する前提で庁舎を中間地点の盛南エリアにしようとしたが、矢巾の編入がかなわず、盛岡の南に町が移動（人の流れが移動）してしまったと聞いた。変更はありうると思うが、説明が足りない。と思う。様々な意見、知らないから言ってしまう人もいます。丁寧な説明で理解者を増やしましょう お疲れ様です。

67	都南との合併時の約束は重要視すべき
68	分庁舎も充実させて、各地域が活性化するようにしてほしい。官庁街として、内丸エリアを継続してほしい。盛岡は内丸周辺からできているはずです。公共交通を整備して、バスで動けるようにすることが車渋滞の解消にもつながると思います。
69	コンペの時には次の項目を入れてください。1.0 エネルギーにする＝ゼブをめざす。2. エネルギー使用量を予測して示す。将来それがどうなっているかを公表する。3. ランニングコストを下げる工夫をする。ニセコ町の日本トップ級の省エネ性能も参考にしてください。できれば市役所に食堂かカフェが欲しいです。
70	内丸に病院跡地が老朽化して残されている。その跡地の活用を医大だけに任せないで、市も積極的に動いて調整をし、新庁舎を建てることによって盛岡の街づくりを推進してほしい。早く整備しないと益々工事費が増えるので早く整備してほしい。
71	説明会の話にありましたが、これからどういう自然災害が起きるのか？何かがあった時、（可能な限り）市・（県）司令塔が倒れないような物をお願いします。若い世代に聞く（話を）大学生ばかりでなく、若い社会人にも欲を言えば県外に出ている県人からも聞いてほしいと思います。現在、これから高齢化のことを思えば庁舎は新しく、身障者や車椅子の人に優しい庁舎を希望します。
72	正面玄関わきにサロン応接間を作ってほしい。テーブル2-3つあり、受付が対応し、必要に応じて職員が降りて来てくれるような。サロンで全てが済むといい。市長とコミュニケーションとれる場所を作ってくれてうれしい、聞く姿勢、弱者によりそってほしい。市長は選挙で選ばれたのだから、市長の考えに従うのが市民の役目。市長の考えをしっかりと示してほしい。
73	整備エリア：盛南地区、整備場所：市有地（旧盛岡市アイスアリーナ）の活用、スクラップ&ビルドをお願いします。
74	三ヶ所の移転候補地の中で、内丸地区に誘導しようとする最近の一部の流れに疑問を感じる。公平性、客観的な判断による決定を望む。
75	内丸地区、盛南地区の用地の確保は困難であり、駅西地区の市役所用地進めるべきである。
76	盛岡市には産業がない。従業員300人以上の大企業はない。岩銀・北銀はある。→中小企業が99%である。公務員で経済が成り立っていると言われている。如何に産業を隆盛させるか、何を核として産業を支えているのか。市民に税増収をお願いするのであれば財源をどこ求めるのかお聞きしたい。
77	・これからの時代を担う若者（20代～30代）を対象とした説明会等の場を設けるべき（市から出向いて開催する）・2050年カーボンニュートラルに向け、新庁舎はZEB化すべき。・将来、少子高齢化の進展で、矢巾、紫波との合併論議が再熱する可能性はないのか否か、20年～30年先を見越した検討を望みます。・県庁舎も現庁舎の老朽化により耐震補強または建替の議論が始まっている。「きたぎんボールパーク」のように県と市の合築は考えられないのか。持分比率による整備と維持管理を行えば県民からの理解を得られるのではないか。

78	できれば盛南地区がよいと思います。
79	歴史・文化の反映もシンボルも大きな要素としないで欲しい。コストがかかりそうだ。行政機能が最大限発揮できる庁舎とするべきです。簡素でいい。その費用を防災設備に回すべきと考える。そして今よりも駐車場を広くするべきです。
80	県庁と市役所、同じくしてね！！
81	PFI、PPPで建築を。市民ホール大きくしろ。無駄なスペースには人は集まる
82	盛岡駅周辺に多くの市有地があるはずですので、その土地活用が最も市民負担が少ないと思います。その土地を県と交換に、県庁、合庁への市庁舎も有りと思います。そうすれば中心市街地の衰退は防げるかと思います。
83	・住んでいる所から近い方が良いが、交通の便が良ければどこでも良いと思う。・であれば現庁舎の場所（市の中心地）が良いと思う。・盛南エリアには別に庁舎があれば良いと思う
84	水戸などへ行って見学すると難しい問題が多い。川徳、郵便局、岩銀の抜けた河南地域にならなように。
85	議会棟は稼働日数から見て別々で良い
86	バリアフリーで、どこに何があるか分かりやすい庁舎！
87	よろしくお願い致します。市長さん、元気なお顔拝見できてよかったです。
88	市の機能を一ヶ所に集約することは必要ではない
89	リスクは分散させた方がよい。今でも内丸庁舎が混むと予想される時は可能な時は支所を利用している。機能を盛り込みすぎなくて良いと思う。でも質のよいものを。（安さを求めすぎない）
90	場所により求められる機能が変わる。例えばコミュニティセンターであれば、盛南には必要だが、西口にはアイーナがあるので不要。内丸は不明。
91	内丸地区（医大跡）に移転するのが望ましい。商業地は人の多い職場の有無に大きく影響を受ける。医大移転の時点で人の流れが変わり商売厳しくなった。ぜひ木造の庁舎を作っていただき、GX的にも岩手県の県庁所在地としても誇れるものにしてほしい。借金は誰かの収入です。思い切って
92	手続き以外にも、利用できるような設備があればより人が行きやすく、市のシンボルになるのではないかと思います。例えば、オープンスペース、コワーキングエリアの設置（同じ場所だと手続きがやりやすい）、貸しスペース（市民には安く。盛岡は市民であるメリットが少ない、若い人が借りやすく行きやすくなるのでは？）滝沢市にはあったはず。雫石町は町内の入浴施設に入れるチケット配布などそこに住むメリットがある

93	今の庁舎を残す選択肢を残してほしい。現庁舎は多額の費用を投じて建替しなければならないほど危険あるいは将来的に維持管理上問題があるのでしょうか。維持管理費の見直し、洪水対策の見直し、狭いのであれば既存建物の間借り等でやり方を見直せば現庁舎を活用した方が割安ではないでしょうか。どうしても建て替えるなら、中の橋からの景観に配慮してほしい。
94	さんさを守っていくことがとても大切な気がします。お祭りの風化は地域の弱体化につながると思います。建物を作る以上、各機能の検討は行うと思いますが、文化的な部分をなしにしてはいけません。
95	内丸以外は考えられない。早めに実行段階に移してもいいと思う。
96	財源的問題があると思いますが、安全・利便性を重視した庁舎にしていきたい。
97	支所はある程度必要だと思うがその他の機能は土地の広さの関係を考慮しつつまとめた方が効率化につながる。建物ありきではないが、市庁舎はその街のシンボルでもあることから、各種機能の強化を含め、他都市から見劣りしないような建物であってほしい。
98	合併して不便さをいまだに感じています。特に交通の便。職員の皆さんはとても親切に対応してくれています。事業費について、少子化時代になっているので、多額の予算になると大変になるのではないのでしょうか。
99	将来のためにも内丸から移動しないでほしい。
100	市役所勤務の方々の駐車場がどうなっているか、いつも心配しております。内丸では十分な駐車場は無理、無理をすれば年月がかかる。西口は〇〇駐車が増えることが心配。車社会では、旧盛岡以外の方々にも盛南がベストかと思う。
101	盛南以外の場所
102	用地取得が重要。エリア決め手も用地がないと建てられない。エリアが決まって用地取得すれば地価が上がる。エリアごとに用地取得が必要。街づくりの展望が示されなければならない。お疲れさまです。
103	災害時しっかり対応できる場所に。現在地は中央通突き当りで不便。106号にまっすぐ接続できればいい。県庁と近い場所が業務連携上いい。
104	都南玉山の支所を充実させ、DX当活用により内丸に行かなくても目的が達成できれば本庁舎は分庁舎等を集約しつつ移転新築すべき
105	借金して建てるのだからなるべく安価に
106	内丸を希望する理由。①県都の中心は内丸②防災上司令塔としての役割③財源は県や国との関係（合築）④県や国医大など広い土地の地権者との協議は必須⑤最後は市長が決定し、議会市民関係者への情報発信により理解を求めることになる。100%でなくていい。⑥スケジュールが大事なので、あり方と進捗状況セットで説明するほうがいい。
107	デジタル化の途上。小容積の庁舎でまにあうのであれば、利便性を考え集約してほしい。
108	段階絞る議論と行ったり来たりすることも認めるといいのではないか。

109	建築及び維持コストは市民に経緯を説明しながら進めてほしい
110	歴史を感じさせる外観
111	DXはもちろんだが心が通う庁舎になってほしい。
112	玉山・都南庁舎の機能強化をしたうえで本庁舎をどうするか検討してほしい。県庁の建て替え構想が出ていると思われるが合同での建設する案も考えてもらいたい。
113	庁舎以上に地方公共交通をどうするかが問われると思う。庁舎の材質も木造かコンクリートかが問われると思う。
114	洪水浸水想定区域内の整備は問題外と思います。防災上安全は第一優先であり、ある程度の面積を確保して市民の要望に応じていくことが重要と思います。
115	現庁舎に手を加え、予算を抑えたコンパクトな庁舎を望みます。財政面を第一に考えてほしい。盛岡城を創る話は税金のムダ。その費用は庁舎整備や教育に充ててほしい。消防署を現地に移転する際、防災危機管理について検討しなかったのか疑問。参加者一人ひとりの意見を市長が聞く機会は貴重です。ありがとうございました。
116	内丸でお願いしたい。子供たちのために負担を残したくない。
117	自然災害がいつどこでおきてもおかしくない状況なので、役所機能が停滞しないような形にしてほしい。支所機能もサービス低下しないようにしてほしい。
118	盛岡の町並みの良さを残した整備をお願いしたい。
119	新庁舎は盛岡のまちづくり全体の整備のためのタネ地として位置付けて、整備事業を連続させて欲しい。
120	1. どのようなサービスを提供するのか。何が変わるのかコンセンサス得て欲しい 2. 人口減少とDXを前提とした低コストでコンパクトな計画にして欲しい 3. 支所、分庁舎を最大限に利活用しながら、恒久施設としての新庁舎はコンパクトかつ柔軟な計画にして欲しい。
121	誰もがアクセスしやすく、市街地全体の中心に近く、かつ用地がある駅西がベターです。
122	整備目標時期が無いと、計画に実感が湧かない。
123	もうそろそろ整備エリアを決めないと、新市庁舎の話はいっこうに進まないと思います。

本日の説明と参加者の皆さんのご意見を聞いていて、なかなか決まりそうにないなと思いました。新市庁舎については、本日資料38ページにも比較評価項目として上位計画がありました。新市庁舎ありきではなく、盛岡をどのようなまちにしていくかのビジョンが先立つものと思います。都市計画マスタープランもそうですが、それよりも改定時期が早い基本構想や総合計画などで、将来の盛岡を検討する場に、新市庁舎整備室の方も一緒に検討されているのでしょうか？ 新市庁舎を検討するには、より横断的な視点と知見が必要だと思います。

また、ご説明いただいた中で、一点違和感を感じた箇所がありました。資料29ページ「主な審議会意見」の中に、「市民の利便性のほか、職員の利便性も考慮すべき」とありますが、市民の利便性と職員の利便性に違いがあるということでしょうか？ 市民と職員と分けて考えてほしくはありません。市民も、職員も一緒に盛岡のまちを盛り立てていくものであってほしいと思います。

市庁舎の規模についても、DXの推進やリスク分散を考慮すると、もっとコンパクトな市庁舎でも考えられると思います。この3年ほどの新型コロナウイルス感染防止では、保健所と本庁舎が分散されていたことで、業務がしやすかった面もあるのではないのでしょうか？

また、市庁舎がなければできない業務と、市庁舎でなくても可能な市役所機能の整理により、現在ある公民館等の公共施設に一部機能を持たせるなどで、市域が拡大してしまった盛岡市民の利便性をあげることは可能だと思います。そこはDXで工夫の余地があるかもしれません。大きなものを作ろうとすると、建て替えも大掛かりになります。資料36ページ、「将来世代の財政負担を考慮した検討」とするなら、コンパクトに、そして長く使えるものを考えてほしいと思います。

今後の人口減少や環境を考えると駐車場の整備も本当に今の台数必要でしょうか？ 「歩いて楽しむまち盛岡」にふさわしい公共交通を整えてほしいと思います。

更に、盛岡市は岩手県の県都でもあります。

様々なご意見、思いがあると思いますので、個人の思いは控えても、心配なことは、ここ数年、盛岡市の計画などで、「！？」とすることがあります。盛岡市の職員さんは、さほど盛岡に愛着もなく、たまたま入職された方もいらっしゃるでしょうし、出向されている方もいらっしゃると思いますが、盛岡で生まれ育った市民に真摯に向き合っていただきたい。そのうえで出された結論であれ

124

125

1 岩手医大の矢巾町移転に伴い市中心部の賑わいの衰退が懸念される。活性化を図る観点からも、また利便性の面でも内丸エリアが適地と思われる。

126	<p>市庁舎は行政サービスを受けるためにある場所だと思う。なので市民ならばどこに住んでいてもどのような状態、状況であっても迅速にできる限り負担なく手続きができることをいちばんに考えて決めてほしい。</p> <p>経済効果や景観などは付加価値なので二時的なものだと思う。その上でできる限り長くメンテナンスしながら使える箱ものにしてほしい。</p> <p>見栄えや多機能な箱ものではなく市庁舎としての基本をおさえた市庁舎であってほしい。</p>
127	<p>先日の説明会もいきましたが若い人がいない。これからの時代を担う若い人たちの意見を反映する必要がある。今は盛岡を離れている人などどこにいても説明会が聞けるようにZOOMなどWEBを利用して多くの意見を寄せるべき。浸水エリアにそもそも検討している事がおかしい。今まで一回も浸水していないからが理由だが、今後ゲリラ豪雨など大変な時代がくるのだから絶対安全な場所、地盤の良い所、浸水エリア外、防災に適した場所が良い。</p>
128	<p>期限を設定し、そこから今やることを逆算し、最小の経費で庁舎建設を進めてほしい。内丸や盛南など用地交渉が必要なエリアは、期限内に交渉が終了する保証がなく、移転候補地にはなり得ないと思われる。盛岡駅西は洪水が懸念されるが、釜石のイオンのように1、2階を駐車場にするなどにより対応可能と思われる。内丸を推す方々には中心市街地活性化対策を行うこととその説明を丁寧に、都南の方々には合併協定書の内容と異なることとなったことについての説明を丁寧に行い、市民の合意形成に努めてほしい。</p>
129	<p>盛岡らしさを形成しているのは旧市街地であって盛南エリアや駅西口ではないと思う。新市庁舎は内丸地区以外には考えられない。</p>
130	<p>これまでの経緯を踏まえると、候補地の順序は盛南地区を最初にもってくるべきではないでしょうか。</p>
131	<p>①「福祉のまち、もりおか」切望。ノーマライゼーション、バリアフリーの実現加速させる。障がい区分で、「一種一級区分6」レベルの人たちも社会参加の権利、願いが叶うよう環境整備を進めてほしい。障がい者、子ども、妊産婦、老人などに良い環境は誰にでも良い。「いつ、自分が、大切な人が、障がいになるやも知れぬ」「一寸先は闇」「明日は我が身」を生活しているのだから。②行政サービスが、地域でできること。③①②が良くなれば、どこでも良い。</p>
132	<p>建設場所は、市有地がベターと思います。盛岡駅西口が望ましい。</p>
133	<p>市民それぞれの考え方意見があると思いますがやはり最大公約数でまとめるしかないと思います。大変な仕事ですけど市長はじめ関係職員の皆さん頑張って下さい!☒</p>
134	<p>1 利用者は全市民ではない。利用する世代に利用しやすい庁舎であること。2 将来どんなことが必要か分からない不確実な時代です。柔軟な対応が求められますが、単純なほど柔軟性が高いと思います。複雑な庁舎より、単純な庁舎を願います。</p>
135	<p>これからの少子高齢化に向け、公共交通の再編整備と併せて中心市街地に行政サービス機能を集中させ、固定資産税などの税収増に繋がるよう、まちづくりと一体となって考えてほしい。</p>

136	場所はどこでもいいが、都南は不要だと考える。理由→都南支所が大きく行政サービスもほとんどできる。盛南開発でシフトし過ぎて北部や中部は置き去り状態。事業費は最小限で良い。立派過ぎずプレハブ過ぎずで良い。市の土地を使うべき。
137	内丸がいい
138	市の本庁舎、県庁、医大の病院棟など、老朽化が進んでいるため、内丸の再開発の協議を先行し、県都盛岡市にふさわしい新市庁舎を望む。
139	震災の例は適切ではないかもしれないが、同じ岩手県内の状況として考えるべきと思う。大槌町と山田町については隣り合った町だが一方は役場が津波により被災、もう一方は高台にあり津波に遭わなかった。行政機能が損傷することは支援の立ち上がりが遅くなり、市民にとって何ひとつ良いことがない。配布された資料の「検討状況」のうち、防災拠点以外はソフトで対応できるが、立地は後からは変えられない水害についてはハザードマップの信頼度が高いことが昨今の災害多発化、激甚化で示されている。それを無視して、たとえば「交流拠点」の理由から内丸の浸水エリアに新市庁舎を立てて被災した場合、その交流拠点が失われる。ハザードマップで災害の可能性のない・低い立地をを選んだ場合には、住民に納得はいかない人はいると思うが説明はつく。自身の利便性が失われても最後の砦となっていると思えば。しかしそれ以外の理由の場合、優先度は人によってさまざまであり、説明がつかない。内丸にしたければそれでもよい。しかしそれはハザードマップ上問題がないということが大前提でありそのような土地で取得ができるところがあるのかと思う。理想や希望を持って考えるのではなく、徹底的に現実的に考えるべき内容だと思う（内丸で市役所を建てられるとしたら、盛岡城跡公園の天守があった場所だけだと思う）。安全の観点から玉山地区であっても可能性があると思っているし、私はそれでも構わない。